

令和5年度

当初予算(案)主要施策・事業補足資料

5. 令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料一覧

補足資料
ページ

予算案概要
掲載ページ

I 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

1. 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり

拡充	● 中小企業デジタル化推進事業	1	11
拡充	● 中小企業活性化事業	1	11
拡充	● スタートアップ支援事業	2	11
拡充	● 企業立地推進事業	2	11
	● 雇用対策等事業	3	11
	● 歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり	3	12
	● 下石井公園の魅力向上事業(再掲)	4	12
	● 岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業	4	12
拡充	● 岡山芸術創造劇場開館に合わせた商店街活性化事業	5	12
	● 市街地再開発事業の促進	5	13
拡充	● 活力ある農業の振興	6	13
	● 有害鳥獣による農作物被害等への対策(イノシシ等)	6	13
新規	● 危険木伐採支援事業	7	13
	● 日本遺産活用推進事業	7	14
	● 移住定住促進事業	8	14

2. コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり

	● 地域の未来づくり推進事業	9	15
	● 地域おこし協力隊事業	9	15
拡充	● バリアフリー推進事業(移動等円滑化促進)	10	15
	● 公共交通高齢者・障害者運賃割引事業	10	15
新規	● 持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けたあり方検討	11	16
拡充	● 新たな生活交通の確保事業	11	16
	● 交通結節機能強化(庭瀬駅・高島駅・上道駅)	12	16
	● 自転車先進都市の推進	12	16
	● 道路ネットワークの充実・強化	13	17
	● 緑のボリュームアップ(再掲)	13	17
拡充	● 快適な住環境整備	14	17
新規	● 高島市営住宅再生及び余剰地等の有効活用の検討	14	17
	● 瀬戸内市新火葬場整備事業	15	17

3. 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり

	● 「歴史を伝える城、集う城」岡山城魅力アップ事業	16	18
拡充	● 文化財と観光の融合による新たな魅力づくり事業	16	18
新規	● 岡山城主要部跡地整備推進事業	17	18
	● 岡山芸術創造劇場ハレノワの開館	17	19
新規	● おかやまアーツフェスティバル	18	19
	● 文学によるまちづくり推進事業	18	19
	● トップチーム支援事業	19	20
	● おかやまマラソン	19	20
新規	● 国民スポーツ大会冬季大会の開催準備	20	20
	● 多目的屋内施設(アリーナ)の基本計画策定	20	20

Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

4. 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり

	● 子育て環境の施設整備推進事業	21	21
	● 保育士確保対策	21	21
新規	● 保育園等における利便性向上の推進	22	21
	● 放課後児童健全育成事業	22	21
拡充	● 産後ケア事業	23	22
拡充	● 子ども医療費助成事業	23	22
	● 医療的ケア児等の受入体制の整備	24	22
拡充	● 困難を抱える子どもとその家庭への支援	24	22
拡充	● 児童虐待防止の推進	25	23
新規	● ヤングケアラー支援体制強化事業	25	23
拡充	● 交通遺児激励金	26	23
	● 女性が輝くまちづくり事業	26	23
	● 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト	27	23

5. つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり

	● 魅力ある授業づくり推進事業	28	24
拡充	● 問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業	28	24
新規	● 魅力ある教員の確保事業	29	24
拡充	● 学校業務アシスト事業	29	24
新規	● 部活動地域移行モデル事業	30	24
	● 学校給食費の公会計化	30	25
	● 学校特別教室空調設備整備事業	31	25
	● 新岡山学校給食センター(仮称)整備事業	31	25
拡充	● GIGAスクール構想によるICT活用支援事業	32	25
新規	● 新教育研究研修センター(仮称)整備事業	32	25
	● 夜間中学設立準備検討事業	33	25
	● 公民館整備事業	33	25

6. 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり

	● SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクト推進事業	34	26
拡充	● 区のまちづくりの推進	34	26
新規	● 岡山市・プロヴァディフ市50周年、新竹市20周年記念事業	35	26

Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

7. 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり

	● 生涯活躍就労支援事業	36	27
新規	● アプリを活用した健康的な生活習慣推進事業	36	27
拡充	● 若年層に対する自殺予防対策事業	37	27
拡充	● フレイル対策事業	37	27
拡充	● がん対策事業	38	27
	● 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	38	28
	● 生活支援サービス体制整備事業	39	28
拡充	● 在宅介護総合特区～AAAシティおかやま～の推進	39	28
新規	● 在宅医療介護・在宅看取り等普及啓発事業	40	28
拡充	● 認知症サポーター活動促進事業(チームオレンジ)	40	28
拡充	● 地域共生社会の推進(重層的支援体制整備事業)(再掲)	41	29
	● 障害者就労支援事業	41	29
	● 生活困窮者等自立支援事業(再掲)	42	29
拡充	● 野犬対策事業	42	29

8. 地域の力を活かした災害に強く安全・安心なまちづくり

	● 下水道・河川等による浸水対策事業	43	30
	● 新庁舎整備事業	43	30
拡充	● 道路施設の長寿命化事業	44	30
	● 用水路等転落防止対策事業	44	31
	● 水道施設・管路耐震化等更新事業	45	31
	● 下水道施設の耐震化・再構築(リノベーション)事業	45	31
拡充	● 地域防災力強化事業	46	32
	● 消防署所適正配置事業	46	32
	● 水難救助訓練施設整備事業	47	32
拡充	● 防犯カメラ設置支援事業	47	32

9. 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり

拡充	● 地球温暖化対策事業	48	33
	● 道路照明灯LED化事業	48	33
拡充	● 海ごみ地域対策推進事業	49	33
新規	● プラスチック資源分別回収・リサイクル事業(再掲)	49	34
	● ごみ処理広域化処理施設整備・運営事業	50	34

3つの将来都市像実現のベースとなる都市経営の視点

10. 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営

	● 外部専門人材活用事業	51	35
	● 業務改革推進事業	51	35
	● 区役所窓口のスマート化事業	52	35
拡充	● 情報発信力強化事業	52	35

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	中小企業デジタル化推進事業					拡充
事業の趣旨・目的	中小製造事業者等の大きな課題である「人手・人材不足」「労働生産性向上」に対応するため、IoT・AI等先端技術の導入支援等を行い、デジタル化やDX(デジタルトランスフォーメーション)を促進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> IoT・AI等先端技術導入支援事業 <ol style="list-style-type: none"> IT利活用支援 <ul style="list-style-type: none"> IT活用を希望する企業に専門家を派遣し、経営課題分析とITツール等の選定を支援 上記支援を通して、選定したITツール等の導入に対する補助 IoT・AI等先端技術導入支援 <ul style="list-style-type: none"> 導入効果の高いIoT・AI等選定の為のコンサルティングや事前検証に対する補助 上記補助で事前検証を行ったIoT・AI・ロボット等の導入に対する補助 DX推進マッチング事業 <ul style="list-style-type: none"> 専門家派遣によるデジタル化の課題分析や、その結果に基づいた市内IT・ロボット事業者等とのマッチングを実施 クラウドサービス等の導入支援事業【新規】 <ul style="list-style-type: none"> デジタル化に取り組む事業者に伴走し、クラウドサービス等の導入を支援 <p>【R5年度予算のポイント】</p> <p>クラウドサービス等の導入支援を加え、企業のデジタル化の度合いに応じて幅広く支援</p>					
事業費	96,400 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(72,400 千円)		地方債	0 千円	一般財源	96,400 千円
(今年度当初要求額)	(107,400 千円)					
担当課	産業振興・雇用推進課		連絡先		内線 4520	
担当者	課長 船守 秀樹				直通 086-803-1323	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	中小企業活性化事業					拡充
事業の趣旨・目的	デジタル化や省エネ等への設備投資を支援し、中小企業の生産性向上を推進します。また、融資返済計画見直し等の事業課題の相談事業を実施し、中小企業の事業継続を支援します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 中小企業設備投資等支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 省エネ等生産性向上に資する設備投資に係る経費の一部を補助 中小企業事業継続相談支援事業【拡充】 <ul style="list-style-type: none"> 融資返済計画の見直しや価格転嫁等に係る相談事業を実施 <ol style="list-style-type: none"> コロナ対応融資(新規・借換・返済条件変更)に係る相談 資源・エネルギー価格高騰等に対応するための価格転嫁に係る相談 インボイス制度に係る相談 各種補助金・助成金、労務管理等に係る相談 <p>【R5年度予算のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> エネルギー価格高騰の影響を受ける中小企業の省エネ等への設備投資を支援 新年度に増加が見込まれるゼロゼロ融資借換や価格転嫁、インボイス制度等に係る相談事業を実施 					
事業費	112,000 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(104,090 千円)		地方債	0 千円	一般財源	112,000 千円
(今年度当初要求額)	(112,012 千円)					
担当課	産業振興・雇用推進課		連絡先		内線 4520	
担当者	課長 船守 秀樹				直通 086-803-1325	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	スタートアップ支援事業					拡充
事業の趣旨・目的	岡山市の経済成長の担い手として期待されるスタートアップへの支援メニューを強化し、スタートアップが創出され、成長が促進される環境づくりを、ももたろう・スタートアップカフェ(ももスタ)で取り組みます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. スタートアップ支援拠点運営事業 官民連携組織によりスタートアップ支援拠点「ももたろう・スタートアップカフェ(ももスタ)」を運営し、起業家や投資機関等のステークホルダーのコミュニティ形成を図る</p> <p>2. スタートアップ支援事業 (1)起業家の掘り起こし等に繋がるイベント開催、起業家創出・事業成長のための集中支援 (2)スタートアップの成長の鍵となる資金調達環境の強化を目的としたプログラムを実施 (3)GovTech Challenge OKAYAMAの実施【拡充】 スタートアップと市が協働し、行政・社会課題の解決に取り組むプログラムを実施 (4)次世代起業家育成事業【新規】 中高生の起業家精神醸成や起業家的資質向上を目的とした体験プログラムを実施 (5)X-Techビジネス創出促進事業【新規】 起業家のビジネスアイデア実現やビジネスプラン成長に必要なスキル習得を支援</p> <p>【R5年度予算のポイント】 スタートアップ・エコシステムの形成に向けた支援環境づくりの強化と拡充</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	100,000 千円 (68,000 千円)	財源内訳	国県支出金	50,000 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(105,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	50,000 千円
担当課	産業政策課		連絡先		内線 4515	
担当者	課長 近常 祐嗣				直通 086-803-1342	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	企業立地推進事業					拡充
事業の趣旨・目的	地域経済の活性化や雇用の創出等のため、企業の本社や中四国支店等、IT・デジタルコンテンツ関連の事業所、製造工場、研究所、物流施設等の新規立地・拡充や、市内既存工場の設備投資・拠点強化を促進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 本社・中四国支店等立地推進事業補助金【拡充】 ・本社、中四国支店等広域的拠点、サテライトオフィスの立地企業に対する補助 ・現行の設備補助、人材確保奨励金に加え、新たにオフィス賃料補助を追加</p> <p>2. IT・デジタルコンテンツ産業等推進事業補助金【拡充】 ・IT・デジタルコンテンツ産業等の立地企業に対する補助 ・現行の設備補助、人材確保奨励金に加え、新たにオフィス賃料補助を追加</p> <p>3. 企業立地促進奨励金 製造工場等の立地企業に対する補助</p> <p>4. 物流施設誘致促進奨励金 物流施設の立地企業に対する補助</p> <p>5. 再投資・拠点強化促進奨励金 戦略的再投資、拠点強化及び職場環境改善を行う市内既存工場等に対する補助</p> <p>【R5年度予算のポイント】 補助制度を拡充し、本市の立地優位性を活かした企業誘致を推進</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	1,292,000 千円 (184,900 千円)	財源内訳	国県支出金	750 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(1,292,636 千円)		地方債	0 千円	一般財源	1,291,250 千円
担当課	産業政策課		連絡先		内線 4513	
担当者	企業立地推進担当課長 富岡 博之				直通 086-803-1328	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	雇用対策等事業					
事業の趣旨・目的	市内中小企業等の人材確保を支援することで、企業活動の活性化を促進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 就職氷河期世代の就職を支援 <ol style="list-style-type: none"> (1)就職に役立つスキルアップ研修の実施 (2)合同企業説明会開催や職場見学等による企業と求職者のマッチングの実施 2. 主に新規学卒者等を対象とした合同企業説明会を開催 3. 学生と市内企業で働く若手社員との交流会を開催 4. 企業の情報と働きやすい職場づくりに取り組む企業の記事をまとめた冊子を作成し、市内学生等に情報提供 5. 育児中の方を対象とした就職相談会と、パートタイム等短時間での勤務を希望する方を対象とした企業説明会を開催 6. 外国人雇用に関する企業向けセミナーを開催 					
事業費 (前年度当初予算額)	43,590 千円 (58,660 千円)	財源内訳	国県支出金	22,500 千円	その他	500 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(44,204 千円)		地方債	0 千円	一般財源	20,590 千円
担当課	産業振興・雇用推進課	内線	4520	担当課	産業政策課	内線
担当者	課長 船守 秀樹	直通	086-803-1323	担当者	課長 近常 祐嗣	直通
						4515
						086-803-1342

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり					
事業の趣旨・目的	まちなかの回遊性向上や賑わいづくりに向け、官民連携による公共空間活用の推進、旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに取り組みます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歩いて楽しいまちなかの空間創出 <p>下石井公園の魅力向上等による居心地の良い空間づくりや、その空間を活用した官民連携の賑わいづくり</p> 2. 緑のボリュームアップ <p>街路樹や公園樹木の質向上のための管理・街路樹更新等</p> 3. 旭川かわまちづくり <p>桜並木の保全のほか、堤防上通路を活用した賑わい創出事業の実施</p> 4. 西川魅力賑わい創出 <p>これまでの民間主体の西川緑道公園界隈での賑わいづくりの更なる推進</p> <p>【R5年度予算のポイント】</p> <p>回遊性向上のための賑わいづくりや中心市街地等の街路樹再生によるまちなかの魅力向上</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	155,200 千円 (204,000 千円)	財源内訳	国県支出金	31,000 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(155,428 千円)		地方債	31,500 千円	一般財源	92,700 千円
担当課	庭園都市推進課	連絡先		内線	3681	
担当者	課長 青木 寛享			直通	086-803-1395	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	下石井公園の魅力向上事業(再掲)					
事業の趣旨・目的	歩きたくなるまちなかづくりを推進するため、日常的に市民に親しまれ、多様な方々が憩い、滞在できる居心地の良い空間をつくり、まちの賑わい創出や魅力向上による回遊性の向上を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>下石井公園の芝生化</p> <p>R3年度に実施した人工芝生化の社会実験を踏まえ、R4年度に天然芝生化の設計及びグラウンド東半面を工事着手(予定)。R5年度は西半面を工事着手予定</p> <p>【R5年度予算のポイント】</p> <p>日常的な憩いの場とするため、下石井公園の魅力向上を推進</p>					
事業費	29,490 千円	財源内訳	国県支出金	14,000 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(38,000 千円)		地方債	12,600 千円	一般財源	2,890 千円
(今年度当初要求額)	(29,500 千円)					
担当課	庭園都市推進課		連絡先		内線 3681	
担当者	課長 青木 寛享				直通 086-803-1395	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業					
事業の趣旨・目的	まちなかの魅力向上や賑わい創出を図ることを目的に、回遊性の向上、ひいては中心市街地の活性化に資するよう、公共交通の利便性向上を進めます。岡山駅前広場への路面電車の乗り入れは、利便性向上や中心市街地での回遊性向上につながります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>駅前広場整備及び交差点改良に係る地下街補償、整備工事、軌道工事等</p> <p>(1)地下街補償</p> <p>(2)駅前広場工事</p> <p>(3)軌道工事(補助金)</p>					
事業費	1,707,900 千円	財源内訳	国県支出金	773,000 千円	その他	1,500 千円
(前年度当初予算額)	(612,000 千円)		地方債	724,000 千円	一般財源	209,400 千円
(今年度当初要求額)	(1,761,740 千円)					
担当課	交通政策課		連絡先		内線 3620	
担当者	課長 是友 修二				直通 086-803-1374	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	岡山芸術創造劇場開館に合わせた商店街活性化事業					拡充
事業の趣旨・目的	岡山芸術創造劇場の令和5年9月開館を商店街誘客への好機と捉え、集客イベント等の取組を支援し劇場との相乗効果を図るとともに、商店街の魅力向上のため、アーケード等施設整備を支援します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 商店街サポートアイデア協働事業 ハレノワ型 商店街を舞台として、外部団体が商店会と協働して行うダンス等の劇場の開館を契機とした集客イベントで、公益財団法人岡山文化芸術創造と共催した取組を支援</p> <p>2. 商店街個性創出事業 ハレノワ型 商店会が主体、または外部団体と共催して実施する、劇場の開館を契機とした集客イベント等の取組を支援</p> <p>3. 商店街基盤整備事業 (1)商店会が維持管理するアーケード等の改修・設置補助【拡充】 (2)商店会が維持管理する照明等LED化の改修・設置補助【新規】 等</p> <p>【R5年度予算のポイント】 劇場開館を契機に、商店街基盤整備事業の補助上限、事業費を拡充し、商店街のアーケード改修、照明LED化等を推進することで、商店街の魅力向上を図る</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	90,000 千円 (30,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(31,000 千円)		地方債	61,700 千円	一般財源	28,300 千円
担当課	産業振興・雇用推進課		連絡先		内線 4520	
担当者	課長 船守 秀樹				直通 086-803-1323	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	市街地再開発事業の促進					
事業の趣旨・目的	駐車場等の低未利用地が多く分散している中心市街地において、土地の高度利用と都市機能の更新を進めるため、市街地再開発事業によって民間活力を後押しし、高次都市機能や居住機能の充実・強化を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 市街地再開発事業費 市街地再開発組合等が施行する再開発事業に対して、良好な都市環境や賑わいを創出するための助言・指導と補助金による支援 ＜対象地区＞ 野田屋町一丁目2番3番地区 駅前町一丁目2番3番4番地区 蕃山町1番地区 表町三丁目15番地区 表町一丁目1番地区 天神町10番地区</p> <p>2. 市街地再開発事業費 市街地再開発事業等を検討する初動期の地区権利者が組織する研究会等の自主的なまちづくり活動への助言・指導と助成金による支援</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	4,273,260 千円 (3,399,860 千円)	財源内訳	国県支出金	2,019,500 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(4,273,516 千円)		地方債	1,964,000 千円	一般財源	289,760 千円
担当課	市街地整備課		連絡先		内線 3651	
担当者	都市再開発担当課長 戸部 三喜				直通 086-803-1378	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	活力ある農業の振興 拡充					
事業の趣旨・目的	新規就農者や意欲ある農業者への支援を行うとともに、農産物のブランド化を進め、持続可能で儲かる農業に向けた基盤づくりや競争力の強化を推進します。					
事業の概要	【事業内容】 1. きめ細やかな新規就農サポート体制による支援 (1)就農相談や就農体験の情報提供等による支援や、研修中に受けられる資金を交付 (2)次世代を担う新規就農者に、就農直後の経営確立を支援する資金を交付【拡充】 (3)雇いたい農家と働きたい人のマッチングを促進する支援 2. 経営改善に取り組む意欲ある農業者への支援 (1)生産拡大に向けた設備導入や省力化機械・施設等の整備を補助 (2)有機農業の面積拡大を図るため、環境保全型農業に取り組む農業者を支援 (3)担い手への農地集積・集約化を推進するための支援 (4)持続可能な地域循環型農業の推進 3. 農産物のブランド化に向けた取組 (1)岡山市産農産物の首都圏でのPRや販売促進活動の実施 (2)生産者団体等の販売促進経費の支援 (3)岡山市産米の魅力等をPRし、消費拡大を推進【拡充】 4. スマート農業推進モデル事業【拡充】					
事業費 (前年度当初予算額)	245,780 千円 (204,278 千円)	財源内訳	国県支出金	185,118 千円	その他	12,459 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(258,579 千円)		地方債	0 千円	一般財源	48,203 千円
担当課	農林水産課		連絡先		内線 4540	
担当者	課長 石村 琢哉				直通 086-803-1346	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	有害鳥獣による農作物被害等への対策(イノシシ等)					
事業の趣旨・目的	有害鳥獣被害軽減のため、地域ぐるみでの効果的な対策を目指した専門家等による支援を実施するとともに、侵入防止柵設置助成、捕獲柵(檻)設置助成、捕獲活動を行う駆除班の活動支援、捕獲に対する助成を行い、総合的な対策を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 1. 侵入防止柵設置助成 防護柵(ワイヤーメッシュ柵、電気柵、トタン柵など)の設置に係る経費を補助 2. 捕獲柵(檻)設置助成 捕獲柵(檻)の購入に係る経費を補助 3. 捕獲活動を行う駆除班の活動支援 猟友会駆除班の活動に対して活動班員数や活動実績に応じて奨励金を支給 4. 捕獲に対する助成 捕獲及び狩猟により捕獲した有害鳥獣の頭数に応じて奨励金を支給 5. 野生鳥獣被害実態調査の実施 (1)アンケートやヒアリング調査に基づき、市内の被害状況を把握 (2)被害状況が深刻な地区における被害防止対策の効果を高めるため、モデル実証地区において専門家による個別支援を実施 (3)地域特有の課題に対応するための独自性のある被害軽減対策について、モデル実証事業として専門家による個別支援を実施					
事業費 (前年度当初予算額)	100,000 千円 (100,000 千円)	財源内訳	国県支出金	39,007 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(103,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	60,993 千円
担当課	農林水産課		連絡先		内線 4540	
担当者	課長 石村 琢哉				直通 086-803-1346	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	危険木伐採支援事業					新規
事業の趣旨・目的	市民の自主的な里山環境の維持保全を促し、里山の環境を維持するとともに、市民の生命や財産を保護するため、倒木により民家へ被害を与える恐れがある危険木の伐採を支援します。					
事業の概要	【事業内容】 危険木伐採支援事業費補助金の創設 <補助対象者> ・市内に居住している危険木所有者 ・危険木所有者からの危険木の伐採承諾を受けた者 <対象森林> ・土地の地目及び現況が「山林」 <対象危険木> ・他人の居住する住居に被害を及ぼす可能性のある木 ・胸高直径20cm以上、樹高5m以上を想定 <補助率等> ・補助率1/2(上限10万円)					
事業費 (前年度当初予算額)	2,000 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(2,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	2,000 千円
担当課	農林水産課		連絡先		内線 4540	
担当者	課長 石村 琢哉				直通 086-803-1346	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	日本遺産活用推進事業					
事業の趣旨・目的	日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」のストーリーや構成文化財を活用して国内外からの観光誘客を図るとともに、市民にも当日本遺産のストーリーや構成文化財の背景、魅力を知ってもらうことで、地域への愛着、誇りの形成に努めます。					
事業の概要	【事業内容】 1. 体験コンテンツの提供等 (1)アフターDC期間中に、吉備ロマン無料循環バスの運行 (2)吉備路の構成文化財を周遊する企画の実施 2. 千足古墳公開と連携した古墳の魅力再発見事業 (1)古墳に精通した著名人を起用した石室公開バスツアーの実施 (2)造山古墳群魅力発信イベントや古墳の周遊企画の実施 (3)史跡造山古墳群保存整備事業 3. 情報発信 (1)アフターDCに合わせJR桃太郎線を活用した情報発信 (2)食の企画を通してストーリー及び構成文化財の魅力を発信 4. 桃太郎のまち岡山創造発信事業 DXを活用した周遊企画の実施					
事業費 (前年度当初予算額)	197,900 千円 (238,000 千円)	財源内訳	国県支出金	93,854 千円	その他	20,500 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(199,040 千円)		地方債	45,900 千円	一般財源	37,646 千円
担当課	観光振興課	内線 4532	担当課	プロモーション・MICE推進課	内線 4534	
担当者	課長 熊代 健一	直通 086-803-1332	担当者	課長 板野 利泰	直通 086-803-1333	
担当課	教育委員会事務局文化財課	内線 3875				
担当者	課長 草原 孝典	直通 086-803-1611				

事務事業名	移住定住促進事業					
事業の趣旨・目的	移住・定住希望者に対し、ニーズに沿ったきめ細やかな情報の提供体制や移住相談・支援、移住後の支援体制の充実を図ります。 県や連携中枢都市圏域の市町等と連携し、本市への移住・定住を促進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談会への出展 ・日常的な移住相談対応 ・移住支援に関する情報発信 ・おかやまぐらし相談センターの運営 ・企業面接に要する交通費補助 ・お試し住宅(民間賃貸物件)利用補助 ・東京圏からの移住費補助 ・周辺地域移住者へのテレワーク環境整備補助 ・二拠点居住者等への住居費補助 ・岡山市移住・定住支援協議会による移住定住支援 <p>【R5年度予算のポイント】</p> <p>ターゲットを絞った情報発信プロジェクトの新規実施</p>					
事業費	105,000 千円	財源内訳	国県支出金	34,042 千円	その他	2,300 千円
(前年度当初予算額)	(105,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	68,658 千円
(今年度当初要求額)	(107,940 千円)					
担当課	市民協働企画総務課		連絡先		内線 3288	
担当者	移住定住支援担当課長 篠田 由美子				直通 086-803-1335	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地域の未来づくり推進事業					
事業の趣旨・目的	地域住民をはじめ、NPO法人や企業等の多様な主体による、地域活力の創出や生活サービスの維持を目指し、持続可能な「コミュニティビジネス」の創出など、様々な地域課題の解決に取り組む活動を支援します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 専門家やアドバイザーの派遣による活動計画づくりへの支援や担い手の育成 ・課題整理や体制づくりに関する支援 ・地域おこしのスペシャリストによる講演会・講座の開催 2. 起業検討者・事業者への働きかけ強化 ・起業を検討する人材の交流、新たな発案の促進 ・岡山商工会議所等との共催による、事業プランの募集 ・地域の未来づくり推進事業補助金活用者の事例報告 3. 地域の未来づくり推進事業補助金 地域の活性化、地域課題の解決に向けた事業に対する補助 4. 地域活力創出事業補助金 地域の活性化や担い手の掘り起こしを目的とした、事業の試作・試行に対する補助					
事業費 (前年度当初予算額)	182,500 千円 (183,500 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	181,690 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(182,559 千円)		地方債	0 千円	一般財源	810 千円
担当課	事業政策課		連絡先		内線 3590	
担当者	課長 森 博臣				直通 086-803-1042	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地域おこし協力隊事業					
事業の趣旨・目的	人口減少・少子高齢化の進行により、地域活動を担う人材不足が懸念されていることから、「地域おこし協力隊」制度を活用し、三大都市圏をはじめとする都市地域から新たな人材を受け入れ、地域の活性化や課題解決の取組を促進します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 令和4年度から継続して活動を行う隊員(建部(吉田)、御津(五城)、金山寺各1名)及び令和5年度から新たに活動する隊員への支援 ・報償費 ・地域おこし協力隊活動補助金 地域協力活動に必要な経費に対する支援 2. 退任する隊員の市内での起業等に対する支援 ・地域おこし協力隊員起業等支援補助金					
事業費 (前年度当初予算額)	44,600 千円 (45,600 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(44,642 千円)		地方債	0 千円	一般財源	44,600 千円
担当課	事業政策課		担当課		北区役所総務・地域振興課	
	内線 3590				内線 4190	
担当者	課長 森 博臣		担当者		課長 生崎 章	
	直通 086-803-1042				直通 086-803-1655	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	バリアフリー推進事業(移動等円滑化促進)					拡充
事業の趣旨・目的	令和3年度に策定した「岡山市バリアフリー基本計画」に位置付けられた地区を対象に、重点的かつ一体的なバリアフリー化の推進を図るための既存建築物バリアフリー改修を支援し、また、UD(ユニバーサルデザイン)タクシーや低床バス車両の導入を促進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 既存建築物バリアフリー改修事業補助【新規】 岡山市バリアフリー基本計画の移動等円滑化促進地区及び重点整備地区において、既存建築物バリアフリー改修事業に対して補助 ※対象建築物:バリアフリー法第2条に規定する特別特定建築物(規模要件なし)のうち、岡山市バリアフリー基本計画の生活関連施設に位置付けている施設 UD(ユニバーサルデザイン)タクシー導入促進補助【拡充】 UDタクシー車両導入に対して補助 ノンステップバス導入促進補助 ノンステップバス車両導入に対して補助 <p>【R5年度予算のポイント】 既存建築物バリアフリー改修事業補助を新設、UDタクシー導入促進補助を拡充</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	27,800 千円 (5,200 千円)	財源内訳	国県支出金	5,000 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(15,800 千円)		地方債	0 千円	一般財源	22,800 千円
担当課	交通政策課		連絡先		内線 3620	
担当者	課長 是友 修二				直通 086-803-1376	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	公共交通高齢者・障害者運賃割引事業					
事業の趣旨・目的	人口減少や高齢化が進行する中、公共交通の必要性は高くなっており、高齢者等の日常生活を支える移動手段の確保が大きな課題となっていることから、自動車を運転できない高齢者や障害者の公共交通利用促進のため運賃割引を行います。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>路線バス・路面電車を対象に、高齢者・障害者運賃割引を実施 (R3年10月から実施中)</p> <ol style="list-style-type: none"> 高齢者(65歳以上)・障害者の運賃割引(半額)を実施 障害者定期券の割引を実施 <p>※割引(市負担)の利用条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 岡山市民 割引用専用カードでの利用 乗車・降車のいずれかが岡山市内 					
事業費 (前年度当初予算額)	676,300 千円 (812,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	299,881 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(677,816 千円)		地方債	0 千円	一般財源	376,419 千円
担当課	交通政策課		連絡先		内線 3620	
担当者	課長 是友 修二				直通 086-803-1376	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けたあり方検討					新規
事業の趣旨・目的	公共交通の利便性向上及び経営の安定化に資する取組を着実に推進するため、今後の公共交通のあり方について検討します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>持続可能な公共交通ネットワーク構築に向けて、路線バス・路面電車等の今後のあり方について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な公共交通ネットワーク構築に関する国内外の先進事例の整理 ・岡山市への適用可能性の検討 ・公共交通の持続可能性の評価 					
事業費	10,000 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(0 千円)		地方債	0 千円	一般財源	10,000 千円
(今年度当初要求額)	(0 千円)					
担当課	交通政策課		連絡先		内線 3620	
担当者	課長 是友 修二				直通 086-803-1376	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	新たな生活交通の確保事業					拡充
事業の趣旨・目的	人口減少や高齢化が進展する中、公共交通不便地域において、高齢者等の日常生活を支える移動手段として、新たな生活交通を確保する取組を支援します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>地域住民主体で地域ごとの特性に応じた生活交通の運行を計画し、試験運行を実施する中で実際のニーズを把握し、運行改善を行いながら、本格運行を実施</p> <p>生活交通の運行に対する補助</p> <p>(1)本格運行 灘崎地域迫川地区、瀬戸地域千種地区、津高地域馬屋上・野谷地区 上道地域角山地区、上道地域城東台・草ヶ部地区</p> <p>(2)試験運行 牧石地域牧山地区、山南地域幸島地区、山南地域朝日地区 津高地域横井地区</p>					
事業費	25,000 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(19,900 千円)		地方債	0 千円	一般財源	25,000 千円
(今年度当初要求額)	(25,025 千円)					
担当課	交通政策課		連絡先		内線 3620	
担当者	課長 是友 修二				直通 086-803-1376	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	交通結節機能強化(庭瀬駅・高島駅・上道駅)					
事業の趣旨・目的	乗降客数が多い駅にもかかわらず、現状で駅前広場が未整備である駅について、駅前広場を整備することで利便性及び安全性を向上させ、交通結節機能の強化を図っていくことで、人や公共交通中心の社会への移行を目指します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 庭瀬駅北口 完成式典の開催 2. 高島駅南口 調査設計 3. 上道駅 エレベーター等の設計					
事業費 (前年度当初予算額)	31,100 千円 (95,000 千円)	財源内訳	国県支出金	6,933 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(31,300 千円)		地方債	12,400 千円	一般財源	11,767 千円
担当課	交通政策課		連絡先		内線 3620	
担当者	課長 是友 修二				直通 086-803-1374	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	自転車先進都市の推進					
事業の趣旨・目的	「岡山市自転車活用推進計画」に基づき、誰もが自転車を“安全”で“快適”に“楽しく”使うことができる都市『自転車先進都市おかやま』の実現を目指し、各種自転車施策を推進します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 自転車通行空間整備事業 自転車通行空間ネットワークを形成する路線について、道路交通の状況等を踏まえた整備等を実施 2. 自転車駐車場整備事業 用地確保が困難な中心市街地への駐輪場整備促進策として、民間駐輪場を整備する事業者に対し建設費の一部を補助 3. コミュニティサイクル事業 自転車の更新やラックの増設等を行い、現在のサービス水準を維持して継続運用 4. 自転車ルール・マナー関係事業 放置自転車防止啓発指導や、自転車の交通ルール・マナー向上に向けた活動を実施 5. サイクリングルート事業 市内のサイクリングルート(吉備路・吉備高原)における安全性や快適性の向上のための分かりやすい整備等を実施(分かりやすい路面表示・ルートマップの作成等)					
事業費 (前年度当初予算額)	166,300 千円 (174,200 千円)	財源内訳	国県支出金	6,186 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(171,811 千円)		地方債	4,500 千円	一般財源	155,614 千円
担当課	交通政策課		連絡先		内線 3620	
担当者	課長 是友 修二				直通 086-803-1375	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	道路ネットワークの充実・強化					
事業の趣旨・目的	中心市街地への流入交通を適切に分散・誘導し、渋滞解消・交通混雑の緩和に資する外環状線・中環状線の整備や、企業立地・物流等の経済活動、観光コンベンション等の広域交流を促進する環境を整えるため、高速道路等へのアクセス強化を引き続き重点的に取り組みます。					
事業の概要	【事業内容】 1. 環状道路の整備 (1) 中環状線:都市計画道路下中野平井線の旭川橋梁の橋脚工事を推進 (2) 外環状線:県道岡山赤穂線のJR軌道部アンダーパス工事を推進 :市道江並升田線の事業用地取得を推進 2. 広域交通網の整備 (1) 美作岡山道路の山陽自動車道への接続に向け、ジャンクション等の整備を推進 (2) 山陽自動車道吉備スマートインターチェンジの24時間化・大型車対応への機能強化を推進					
事業費 (前年度当初予算額)	3,719,954 千円 (3,674,250 千円)	財源内訳	国県支出金	1,941,277 千円	その他	272 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(3,800,293 千円)		地方債	1,570,900 千円	一般財源	207,505 千円
担当課	道路計画課		連絡先		内線 3640	
担当者	課長 深井 真介				直通 086-803-1696	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	緑のボリュームアップ(再掲)					
事業の趣旨・目的	歩きたくなるまちなかづくりを推進するため、街路樹や公園樹木の質、ボリュームを向上させる取組を実施します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 中心市街地の街路樹再生に向けた取組 樹木が持つ、本来の美しい姿を目指した街路樹の管理、市役所筋における街路樹更新等 2. 公園樹木等管理指針に基づく取組 【R5年度予算のポイント】 ・市役所筋における街路樹更新 ・街路樹再生プログラム(第2期)における街路樹更新についての検討					
事業費 (前年度当初予算額)	43,000 千円 (64,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(43,000 千円)		地方債	18,900 千円	一般財源	24,100 千円
担当課	庭園都市推進課		連絡先		内線 3680	
担当者	公園緑地担当課長 入矢 泰成				直通 086-803-1392	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	快適な住環境整備					拡充	
事業の趣旨・目的	「岡山市住生活基本計画」に基づき、人口減少や少子高齢化に伴う居住ニーズの変化を把握しつつ、市営住宅の適切な管理の推進など住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保に取り組むなどとともに、総合的な空家対策の推進等、既存住宅ストックの活用促進及び良質な住宅ストックの形成を図ります。						
事業の概要	【事業内容】 1. 市営住宅維持管理 居住の安定と福祉の増進に寄与するため、市営住宅の適切な維持管理を実施 2. 空家等適正管理支援事業【拡充】 ・空家の適正管理や利活用を促すために、空家法に基づく特定空家等については除却や応急措置に対して、その他の空家等についてはリフォーム、家財等処分及び空き家診断に対して、所有者等の自主的な取組を支援 (リフォーム助成を拡充、家財等処分助成を新設) ・将来的な空き家の発生抑制のため、地域の方々と連携し、「空き家を生まないプロジェクト」を実施						
事業費 (前年度当初予算額)	1,050,113 千円 (970,528 千円)	財源内訳	国県支出金	208,194 千円	その他	695,832 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(1,051,610 千円)		地方債	25,000 千円	一般財源	121,087 千円	
担当課	住宅課	内線	4660	担当課	建築指導課	内線	4610
担当者	課長 戸田 康宏	直通	086-803-1466	担当者	課長 大森 均	直通	086-803-1410

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	高島市営住宅再生及び余剰地等の有効活用の検討					新規
事業の趣旨・目的	岡山市営住宅等長寿命化計画改定の検討において建替と位置付けている市営住宅のうち、優先順位が最も高い高島市営住宅の建替の基本構想を策定するとともに、建替によって生じる余剰地等を有効活用し、少子高齢化社会に対応し、地域にとって快適な住環境創出を目指します。					
事業の概要	【事業内容】 (1)市営住宅建替の事業内容の検討 (2)余剰地等を有効活用した快適な住環境創出に向けた必要な機能の整理					
事業費 (前年度当初予算額)	9,000 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	4,500 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(9,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	4,500 千円
担当課	住宅課	連絡先		内線	4660	
担当者	課長 戸田 康宏			直通	086-803-1466	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	瀬戸内市新火葬場整備事業					
事業の趣旨・目的	将来の火葬需要への対応と災害時等のリスク分散を図るため、瀬戸内市との広域的な連携による火葬場の整備を進めます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>瀬戸内市新火葬場の本体整備 (瀬戸内市と事務の委託による連携整備) [整備期間 令和2年度～令和6年度] 供用開始 令和7年度</p>					
事業費	358,239 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(168,000 千円)		地方債	322,400 千円	一般財源	35,839 千円
(今年度当初要求額)	(358,239 千円)					
担当課	生活安全課		連絡先		内線 3230	
担当者	課長 江口 英典				直通 086-803-1277	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	「歴史を伝える城、集う城」岡山城魅力アップ事業					
事業の趣旨・目的	令和の大改修を終えた岡山城について、「歴史を伝える城、集う城」のコンセプトを体現する事業を実施し、観光誘客による城一帯の賑わい創出を図るとともに、城郭施設の歴史的環境整備や石垣破損箇所等の保存修理を行い、史跡本来の姿を復元整備していきます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 岡山城一帯でイベントを多数開催し、「集う城」を体現 サミットやフォーラム等、岡山城や城下町エリアを舞台とした新たなイベントの実施 国内外でのプロモーション事業 (1)リニューアル後も引き続き、県外からの誘客を図るプロモーション活動を実施 (2)インバウンド誘客にあたり、リニューアルした岡山城の情報を発信するとともに、岡山城の夜間貸出を活用したインセンティブツアーを誘致 史跡岡山城跡保存整備事業 (1)本丸下の段歴史的環境整備事業 本丸下の段西側の石垣修理、内石垣の検出・復元、建物等の表示整備 (2)岡山城内下馬門・太鼓櫓の復元整備 岡山城の正面入り口である内下馬門・太鼓櫓の復元整備に向けた基本構想を作成 					
事業費 (前年度当初予算額)	180,000 千円 (1,103,000 千円)	財源内訳	国県支出金	36,132 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(188,056 千円)		地方債	32,300 千円	一般財源	111,568 千円
担当課 観光振興課	内線 4532	担当課 プロモーション・MICE推進課	内線 4534			
担当者 課長 熊代 健一	直通 086-803-1332	担当者 課長 板野 利泰	直通 086-803-1333			
担当課 教育委員会事務局文化財課	内線 3875					
担当者 課長 草原 孝典	直通 086-803-1611					

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	文化財と観光の融合による新たな魅力づくり事業 拡充					
事業の趣旨・目的	国指定史跡について、地下に埋没している遺構を復元、表示し、史跡を訪れた市民や観光客がその文化的価値を享受できる環境を整備します。また、歴史・文化遺産の魅力及びその価値やエピソード等を観光的な視点を踏まえてわかりやすく発信し、観光誘客を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 史跡の復元や表示による文化的価値の向上 (1)史跡造山古墳群保存整備事業(再掲) 造山古墳の立体的復元整備の実施 (2)史跡大廻小廻山城跡整備事業 東区草ヶ部等に所在する古代の山城跡の土地公有化 (3)史跡東大寺瓦窯跡整備事業 東区万富に所在する、東大寺復興に際し重源上人が築いた瓦窯跡の整備 (4)史跡岡山城跡保存整備事業(再掲) 本丸下の段環境整備及び内下馬門・太鼓櫓の復元整備に向けた基本計画・設計 歴史・文化遺産の魅力発信【新規】 (1)有力な電子媒体を活用したシティプロモーション (2)AR(拡張現実)を活用した受け地の魅力向上 (3)特設サイトの管理保守運営及び情報発信 					
事業費 (前年度当初予算額)	284,711 千円 (253,011 千円)	財源内訳	国県支出金	148,507 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(285,404 千円)		地方債	86,600 千円	一般財源	49,604 千円
担当課 教育委員会事務局文化財課	内線 3875	担当課 プロモーション・MICE推進課	内線 4534			
担当者 課長 草原 孝典	直通 086-803-1611	担当者 課長 板野 利泰	直通 086-803-1333			

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	岡山城主要部跡地整備推進事業					新規
事業の趣旨・目的	まちなかの魅力と賑わい、回遊性の向上を図るため、岡山城主要部跡地(旧内山下小学校跡地、岡山市民会館、旧NHK岡山放送会館跡地)の整備を推進します。					
事業の概要	【事業内容】 岡山城主要部跡地における便益施設(飲食・物販等)の整備・運営に係る事業者の公募に向けた条件等を整理 ・導入施設の配置計画(ゾーニング、動線等)の検討 ・便益施設等の規模の検討 ・官民の役割分担の整理					
事業費 (前年度当初予算額)	20,000 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(20,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	20,000 千円
担当課	事業政策課		連絡先		内線 3590	
担当者	課長 森 博臣				直通 086-803-1042	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	岡山芸術創造劇場ハレノワの開館					
事業の趣旨・目的	岡山芸術創造劇場ハレノワの開館を契機に、本市の文化力の向上を図るとともに、中心市街地の活性化、回遊性の向上など、まちの魅力アップや新たな賑わいの創出につなげます。					
事業の概要	【事業内容】 1. 劇場開館事業の実施 令和5年9月1日グランドオープンに向け、同6月4日のプレオープンを含めた効果的なイベント等を展開し、開館を広く周知するとともに、グランドオープン後の開館事業を華々しく展開 (1) 令和5年6月4日:プレオープン(記念式典等) 劇場整備関係者を中心とした記念式典を開催。式典後には、市民も鑑賞可能な記念公演を実施するなど、グランドオープンに向けた機運醸成 (2) 令和5年9月1日:グランドオープン(こけら落とし公演) オペラ「メデア」を幕開けに、グランドオープン後の半年間で演劇、バレエ、ダンス等の多様な演目を実施し、多くの市民にハレノワの良さを体感してもらえる機会を提供 2. 劇場管理運営について(指定管理業務) (1) 令和5年10月1日:貸館による一般利用の開始 (公財)岡山文化芸術創造による、市民が利用しやすい劇場となるよう運営実施					
事業費 (前年度当初予算額)	1,206,000 千円 (13,628,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	65,544 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(1,208,779 千円)		地方債	0 千円	一般財源	1,140,456 千円
担当課	文化振興課		連絡先		内線 3749	
担当者	芸術創造劇場開設担当課長 安東 京子				直通 086-803-1054	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	おかやまアーツフェスティバル					新規
事業の趣旨・目的	岡山市文化芸術基本条例制定、岡山芸術創造劇場ハレノワ開館等による、市民の文化芸術への期待感の高まりを逃さず、市内の文化芸術をより発展させるため、既存事業を再構築して新たな文化芸術事業を展開し、「歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり」を推進します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 質の高い音楽や舞台芸術等を気軽に楽しむ機会を多くの人に提供 (1)多くの人が楽しめる環境設定(鑑賞しやすい料金、親しみやすい企画、屋外空間活用) (2)岡山ゆかりのアーティストの活用 2. 市民の幅広い文化芸術活動(音楽、演劇、ダンス、美術等)の発表の場を提供 (1)市民の自主的な活動への支援とその水準向上を促進 (2)事業の全市的な展開、地域づくり・人づくりの仕組みを構築 3. 地域資源(施設、地域の催事等)を活かした文化芸術活動の支援 (1)市内各地の歴史文化や風土等に培われた地域資源の活用 (2)岡山城、岡山後楽園、旧城下町エリアなどの認知度の高い「岡山らしさ」の活用 4. 広報活動を強化し、岡山の魅力発信と多様な主体との連携促進 (1)期間の集約化、多様な主体との連携、拡散力のある媒体の活用 (2)子どもや子育て世代を対象とした事業展開による次世代への継承					
事業費 (前年度当初予算額)	85,500 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	12,000 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(85,500 千円)		地方債	0 千円	一般財源	73,500 千円
担当課	文化振興課	連絡先		内線 3740		
担当者	課長 岡村 誠			直通 086-803-1054		

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	文学によるまちづくり推進事業					
事業の趣旨・目的	ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟申請を通じて、国内外の都市との交流を盛んにし、先人の作品・歴史風土に目を向けるとともに創造活動の活発化を促し、「歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり」を推進します。					
事業の概要	【事業内容】 ユネスコ創造都市ネットワークに「文学分野」で加盟申請するための申請業務・啓発イベント及び交流事業の実施 (1)申請業務(申請書作成・提出) ユネスコ国内委員会及びユネスコの本部へ提出する申請書の作成・提出作業 (2)講演会・PRイベントの開催 市内外へのPR及び市内の機運醸成のため、講演会等の啓発イベントを実施 (3)交流事業(国内外の創造都市との交流) ネットワーク形成を目的とし、国内外の創造都市と交流(各種会議への参加等)					
事業費 (前年度当初予算額)	18,000 千円 (8,500 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(18,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	18,000 千円
担当課	文化振興課	連絡先		内線 3740		
担当者	課長 岡村 誠			直通 086-803-1054		

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	トップチーム支援事業					
事業の趣旨・目的	岡山市を拠点として活動するトップチーム(ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ、岡山リベッツ、トライフープ岡山)が幅広く市民に浸透し、市民の誇りとなるよう、各種支援を実施します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>各種支援事業の実施</p> <p>(1)岡山市民デー(岡山市サンクスマッチ)の開催 各チームのホームゲームのうち、年1ゲームにおいて、各種イベントを実施</p> <p>(2)小学校での給食交流企画 選手が市内の小学生と一緒に給食を食べて体を動かす事業を実施</p> <p>(3)岡山シーガルズのユニフォームに「岡山市」のロゴを掲載 ホームゲームで「岡山市」のロゴを入れたユニフォームを選手が着用</p> <p>(4)岡山連携中枢都市圏関係市町による応援企画 関係市町と連携し、トップチームのホームゲームにおいて応援イベントを実施 (令和5年度は岡山リベッツのホームゲームで実施)</p> <p>(5)ご当地ナンバープレート企画【新規】 岡山リベッツとトライフープ岡山の認知度や応援機運を高めるため、両チームの原付ナンバープレートを作成</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	14,900 千円 (25,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	163 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(15,910 千円)		地方債	0 千円	一般財源	14,737 千円
担当課	スポーツ振興課		連絡先		内線 4740	
担当者	課長 唐井 努				直通 086-803-1616	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	おかやまマラソン					
事業の趣旨・目的	「おかやまマラソン2023」を、市民・県民総参加のもとで「走る」「みる」「支える」大会として開催します。また、大会の開催を通じ、岡山市及び岡山県の魅力を発信し、観光誘客や産業振興につなげることで、地域の活性化を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1.「おかやまマラソン2023」開催経費 感染症対策を講じたうえで、岡山県ほか関係団体と協力して、日本陸連公認コース(フルマラソン)を使用した都市型大規模マラソン大会を開催。大会前日、当日には、主会場周辺で「おかやまマラソンEXPO」を開催し、岡山のご当地グルメや特産品等の物販、各地域の情報発信等を実施</p> <p>2.「おかやまマラソン2024」開催準備経費 次回大会の広報宣伝、運営計画や運営マニュアルの改訂、スポンサー募集やエントリーサイト構築といった開催準備を実施</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	80,343 千円 (80,343 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(80,343 千円)		地方債	0 千円	一般財源	80,343 千円
担当課	スポーツ振興課		連絡先		直通 086-226-7907	
担当者	マラソン事務局担当課長 大野 慶子					

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	国民スポーツ大会冬季大会の開催準備					新規
事業の趣旨・目的	令和7年1月に、岡山市・倉敷市を会場地として開催される第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)・アイスホッケー競技会の開催準備を進め、大会開催に向けた機運醸成を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>競技会の開催地となる岡山県、倉敷市とともに合同の実行委員会及び事務局を組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同実行委員会の設立及び開催 ・開催基本方針、テーマ、スローガン、シンボルマークの決定 ・競技、式典関係の運営計画の作成 ・実施要項の作成 (競技、式典、宿泊、輸送、報道、警備、防災、保健医療等) ・先催県大会視察、調査 ・機運醸成のための広報活動 (公式ポスターや広報資材等の作成及び配布) ・競技団体等との連絡調整 					
事業費 (前年度当初予算額)	3,332 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(3,332 千円)		地方債	0 千円	一般財源	3,332 千円
担当課	スポーツ振興課	連絡先		内線 4740		
担当者	課長 唐井 努			直通 086-803-1616		

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	多目的屋内施設(アリーナ)の基本計画策定					
事業の趣旨・目的	プロスポーツチームやアマチュアチームの試合や練習会場となる「新アリーナ」について、具体的な課題や条件を整理し、効果的かつ実現可能なアリーナの姿を描く基本計画を取りまとめます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>プロスポーツチームやアマチュアチームの試合や練習会場となる「新アリーナ」の具体的な課題や条件等を整理し、効果的かつ実現可能なアリーナの基本計画の取りまとめ</p> <p>「新アリーナ基本計画」策定業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アリーナコンセプトの検討 ・施設の構成、機能等の検討 ・既存施設の利用実態の把握 ・経済的・社会的効果の整理 ・概算事業費の算定 ・事業手法及び管理運営手法の検討 ・事業実施スケジュールの検討 等 					
事業費 (前年度当初予算額)	30,000 千円 (5,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(5,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	30,000 千円
担当課	スポーツ振興課	連絡先		内線 4740		
担当者	課長 唐井 努			直通 086-803-1615		

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	子育て環境の施設整備推進事業					
事業の趣旨・目的	幼稚園と保育園を一体化し、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>施設配置の最適化に向けた整備・幼保一体化の推進</p> <p>1. 令和5年度認定こども園整備対象園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政田認定こども園(仮称) ・浦安・芳泉認定こども園(仮称) ・西大寺認定こども園(仮称) ・御野認定こども園(仮称) ・幡多認定こども園(仮称) ・南輝認定こども園(仮称) <p>2. 市立施設の民営化に伴う施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備補助金(大元学区こども園、西大寺南学区こども園、豊学区こども園、財田学区こども園) ・園舎解体工事(加茂幼稚園) 					
事業費	3,347,000 千円	財源内訳	国県支出金	977,200 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(1,146,000 千円)		地方債	1,849,700 千円	一般財源	520,100 千円
(今年度当初要求額)	(3,538,364 千円)					
担当課	こども園推進課		連絡先		内線 4731	
担当者	課長 逢澤 雅子				直通 086-803-1430	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	保育士確保対策					
事業の趣旨・目的	待機児童の解消及び保育の質の向上のため、喫緊の課題である保育士の確保を推進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 民間保育士等処遇改善事業</p> <p>民間保育士等を対象とする平均約2%の賃金改善を実施</p> <p>2. 保育士宿舍借り上げ支援事業</p> <p>新たに採用した保育士等を対象とした宿舍の借り上げを実施する事業者に対する補助</p> <p>3. 奨学金返済支援事業</p> <p>保育士の奨学金返済のための費用に対する補助を、経過措置として交付決定済みの人を対象とし継続</p> <p>4. 保育支援者配置助成事業費補助金【拡充】</p> <p>民間保育士の業務負担軽減のための保育支援者の配置に対する補助の対象に、小規模保育事業等を追加</p> <p>また、登園時等の重大事故が発生しやすい時間帯にスポット的に配置する支援員を補助対象に追加</p>					
事業費	432,000 千円	財源内訳	国県支出金	130,644 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(459,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	301,356 千円
(今年度当初要求額)	(0 千円)					
担当課	保育・幼児教育課		連絡先		内線 4720	
担当者	課長 山崎 桂司				直通 086-803-1228	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	保育園等における利便性向上の推進					新規
事業の趣旨・目的	保育園・認定こども園・幼稚園において、保護者の利便性の向上及び保育士の負担軽減を図るための取組を行います。					
事業の概要	【事業内容】 1. 使用済みおもむつの園廃棄 (1)感染症対策及び保護者や保育士の負担軽減として、市立保育園・認定こども園における使用済みおもむつの廃棄の実施 (2)私立保育園等において使用済みおもむつの廃棄を行うための環境整備に必要な経費に対する補助 2. 保育園等で行う現金徴収のキャッシュレス化 市立保育園等において現金で集金している実費徴収の費用等について、キャッシュレス対応を実施					
事業費 (前年度当初予算額)	61,900 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(63,532 千円)		地方債	0 千円	一般財源	61,900 千円
担当課	幼保運営課	内線	4710	担当課	保育・幼児教育課	内線
担当者	課長 森本 隆	直通	086-803-1225	担当者	課長 山崎 桂司	直通
					4731	086-803-1228

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	放課後児童健全育成事業					
事業の趣旨・目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊びと生活の場を与え、児童の健全な育成を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 1. 市立の放課後児童クラブの持続的かつ安定的な運営 ・対象クラブ数 67クラブ 2. 地域主体で実施する児童クラブの質の改善の推進 ・開所時間、開所日数の延長、障害児の受入推進 ・支援員の配置や賃金改善に要する費用の補助 3. 児童クラブ施設の量の確保等 ・希望するすべての児童を受け入れるため、必要な施設の整備を推進 ・待機児童対策における届出済民間クラブへの補助を継続					
事業費 (前年度当初予算額)	3,243,300 千円 (2,912,501 千円)	財源内訳	国県支出金	1,750,913 千円	その他	599,329 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(3,366,465 千円)		地方債	116,600 千円	一般財源	776,458 千円
担当課	地域子育て支援課	連絡先	内線	4762		
担当者	放課後児童対策担当課長 若狭 暢宏	直通	086-803-1589			

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	産後ケア事業					拡充
事業の趣旨・目的	産後の母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、健やかな育児を行えるよう、医療機関や助産所、居宅において、産後の母子に休養の機会を提供し、心身のケアや育児サポート等を行います。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>医療機関や助産所、居宅において、産婦の母体管理及び生活面の指導、心理的ケア、授乳指導、沐浴等の育児指導、乳児の世話、発育・発達のチェック、健康上の観察等を実施</p> <p><対象者></p> <p>家族等からの十分な家事、育児の援助が受けられない産後1年未満の母親と乳児</p> <p><実施方法></p> <p>短期入所型、通所型・・・利用者が県内の医療機関や助産所へ宿泊もしくは日帰りで入所 居宅訪問型・・・助産師が利用者の居宅を訪問</p> <p>【R5年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期入所型、通所型に加えて、助産師が利用者の居宅を訪問してケアを行う「居宅訪問型」を新たに導入 ・多胎児が利用する際の公費負担への加算を創設 ・短期入所型及び通所型の利用料金に対する公費負担を増額 					
事業費 (前年度当初予算額)	13,700 千円 (5,100 千円)	財源内訳	国県支出金	6,850 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(16,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	6,850 千円
担当課	保健管理課		連絡先		内線 5750	
担当者	課長 森 公道				直通 086-803-1251	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	子ども医療費助成事業					拡充
事業の趣旨・目的	子どもの医療費の全部または一部を支給し、子どもの健康の保持及び増進に寄与するとともに児童福祉の向上を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 拡充項目</p> <p>助成対象の年齢を「15歳」から「18歳」までに拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部助成を行っている小学生の通院医療費を全額助成 (自己負担 1割 → 無料) ・新たに中学生の通院医療費を一部助成 (自己負担 3割 → 1割) ・新たに高校生(の通院医療費を一部助成 (自己負担 3割 → 1割) ・新たに高校生(の入院医療費を全額助成 (自己負担 3割 → 無料) <p>※高校生とは、在学の有無に関わらず、18歳に達した日以後の最初の3月31日までの者</p> <p>2. 継続項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児(未就学児)の通院・入院医療費を全額助成(自己負担なし) ・小中学生の入院医療費を全額助成(自己負担なし) 					
事業費 (前年度当初予算額)	2,446,000 千円 (2,317,870 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(2,303,943 千円)		地方債	0 千円	一般財源	2,446,000 千円
担当課	医療助成課		連絡先		内線 5720	
担当者	課長 池永 亨				直通 086-803-1219	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	医療的ケア児等の受入体制の整備						
事業の趣旨・目的	保育園・認定こども園・幼稚園において、医療的ケアを必要とする子どもの受入ができる体制を整備します。						
事業の概要	【事業内容】 1. 市立園において、医療的ケア実施体制を確保 保護者の付き添いなしで受入可能となるよう、訪問看護ステーションへの委託による対応や看護師の配置を実施 2. 医療的ケア児保育支援事業補助金 医療的ケア児を受け入れる民間施設に対する補助						
事業費	26,000 千円	財源内訳	国県支出金	15,681 千円	その他	0 千円	
(前年度当初予算額)	(20,173 千円)		地方債	0 千円	一般財源	10,319 千円	
(今年度当初要求額)	(26,169 千円)						
担当課	幼保運営課	内線	4710	担当課	保育・幼児教育課	内線	4720
担当者	課長 森本 隆	直通	086-803-1225	担当者	課長 山崎 桂司	直通	086-803-1228

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	困難を抱える子どもとその家庭への支援 拡充						
事業の趣旨・目的	子どもの将来が、貧困などその生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、困難が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備を図ります。						
事業の概要	【事業内容】 1. 子どもの学習サポート事業 生活困窮世帯の子どもへの学習支援、保護者への生活環境等の改善に関する支援 (1)集合型 市内全区の会場で中学生を中心に学習支援を実施 (2)訪問・オンライン型 タブレット端末を貸与し、訪問とオンラインを組み合わせて支援 2. 子どもの居場所づくり促進事業 (1)子どもの居場所づくり相談窓口の設置、立ち上げ補助とアドバイザー派遣 (2)支援情報を配信する「親子応援メール」の運営、体験活動等支援活動のサポート 3. 岡山市奨学金給付事業 非課税世帯の高校生に対して、奨学金を給付 4. 就学援助費支給事業 経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に学用品等の就学援助費を支給 5. 子どもの生活状況調査【新規】						
事業費	1,140,367 千円	財源内訳	国県支出金	101,286 千円	その他	0 千円	
(前年度当初予算額)	(1,097,671 千円)		地方債	0 千円	一般財源	1,039,081 千円	
(今年度当初要求額)	(1,141,605 千円)						
担当課	こども福祉課	内線	4780	担当課	生活保護・自立支援課	内線	5940
担当者	課長 友末 さより	直通	086-803-1221	担当者	課長 出原 晋一郎	直通	086-803-1349
担当課	教育委員会事務局就学課	内線	3880				
担当者	課長 松本 豊	直通	086-803-1587				

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	児童虐待防止の推進					拡充	
事業の趣旨・目的	被虐待児童死亡事例の検証報告を受け、児童虐待予防・早期発見に向けた取組を推進します。						
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>国の補助制度を活用しながら、下記事業の実施により、児童虐待予防・早期発見に向けた取組を推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SNS活用相談支援事業 子どもや保護者がSNSを通じて相談できる環境の整備 2. 虐待通告等電話相談受付事業【新規】 休日夜間における虐待通告や養育相談等の受付体制の整備 3. 子育て世帯訪問支援事業【新規】 支援の必要な家庭等に対する家事援助等の支援 4. 要保護児童見守り等強化事業【新規】 地域のNPO法人等と連携し、地域での支援・見守り体制を強化 5. その他、関係機関との情報共有・連携に向けた児童相談システム改修等 						
事業費 (前年度当初予算額)	93,800 千円 (2,979 千円)	財源内訳	国県支出金	47,144 千円	その他	0 千円	
(今年度当初要求額)	(108,192 千円)		地方債	0 千円	一般財源	46,656 千円	
担当課	こども福祉課	内線	4780	担当課	こども総合相談所	内線	5592
担当者	課長 友末 さより	直通	086-803-1223	担当者	所長 江田 始男	直通	086-803-2525

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	ヤングケアラー支援体制強化事業					新規
事業の趣旨・目的	問題が表面化しづらいヤングケアラーへの支援のため、それぞれの家庭の課題に応じた必要な支援につなげられる体制を整備します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>ヤングケアラー・コーディネーターの配置【新規】</p> <p>各地域こども相談センターに、ヤングケアラーに対する支援を行う、ヤングケアラー・コーディネーターを配置</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	16,900 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	11,266 千円	その他	0 千円
(今年度当初要求額)	(16,907 千円)		地方債	0 千円	一般財源	5,634 千円
担当課	こども福祉課	連絡先		内線	4780	
担当者	課長 友末 さより			直通	086-803-1223	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	交通遺児激励金					拡充
事業の趣旨・目的	交通遺児の健やかな育成と福祉の増進に寄与するよう激励金を支給します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>交通遺児に対し、小学校入学時、中学校入学時及び卒業時に激励金を支給</p> <p>激励金支給額 (小学校、中学校入学時) 5万円 (中学校卒業時) 10万円</p> <p>※R4支給額 (小学校、中学校入学時) 3万円 (中学校卒業時) 3万円</p> <p>R5年度から激励金支給額を引き上げ</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	900 千円 (360 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	900 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(900 千円)		地方債	0 千円	一般財源	0 千円
担当課	生活安全課		連絡先		内線 3230	
担当者	課長 江口 英典				直通 086-803-1106	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	女性が輝くまちづくり事業					
事業の趣旨・目的	女性の力が社会の中で最大限に発揮できる環境づくりを進めるため、性別等にかかわらず市民一人ひとりの個性が社会のあらゆる場面でいかされる男女共同参画社会の実現に向けた取組等に加え、女性の活躍を応援する取組を進めます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 女性活躍推進事業 企業向け女性活躍シンポジウムの開催及び認証企業制度の普及啓発 女性活躍に向けたトータルサポート事業 女性が活躍し、男女ともに働きやすくするための集客型及び講師派遣型セミナー実施 女性の就労支援事業 ライフステージの変化により離職した女性やキャリアアップ(正規化)を希望する女性のための就労支援講座の開催 大学生のためのキャリア形成応援事業 大学生を対象に、管理職をめざすことも含め、仕事と生活を両立しながら能力を発揮しようとする意識形成を支援するための出前講座の実施 困難を抱える女性への支援事業 困難を抱える女性を対象に、SNSでの相談や居場所づくりなどのきめ細やかな支援の実施 					
事業費 (前年度当初予算額)	14,600 千円 (15,800 千円)	財源内訳	国県支出金	8,739 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(14,697 千円)		地方債	0 千円	一般財源	5,861 千円
担当課	女性が輝くまちづくり推進課		連絡先		内線 3735	
担当者	課長 長谷川 千晶				直通 086-803-1115	

事務事業名	学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト					
事業の趣旨・目的	大学生の人口比率が高い岡山市の強みをいかして、大学生等が、新たな商品やサービス等の開発を目指すスモールビジネスや地域課題の解決を目指すソーシャルビジネスにチャレンジする取組を支援し、地域づくりの次代を担う人材が地域に住み続け、活躍するまちづくりを目指します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 活動経費補助</p> <p>(1)対象者 岡山市内の大学・短期大学・専門学校及び、岡山市と包括的な連携協力に関する協定を締結している岡山市外の大学・短期大学の教職員を代表とした学生3名以上で構成されるグループ</p> <p>(2)対象事業 岡山市または連携中枢都市圏の連携市町の課題解決のための取組や、小規模ビジネスにチャレンジする取組</p> <p>2. 中間報告会や活動報告会の実施 活動の進捗等の共有や参加学生間の交流を目的として、中間報告会や活動報告会を実施</p>					
事業費	7,400 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(10,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	7,400 千円
(今年度当初要求額)	(7,400 千円)					
担当課	政策企画課		連絡先		内線 3587	
担当者	地方創生・政策調整担当課長 岡本 浩司				直通 086-803-1043	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	魅力ある授業づくり推進事業					
事業の趣旨・目的	学力調査や質問紙調査を効果的に活用して、学習指導と生徒指導の両面から児童生徒を理解し、よりよい授業づくりを進めることで、第2期岡山市教育大綱で目指す「5つの力」を育成します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 学びづくり推進プロジェクト <ol style="list-style-type: none"> 中学校区で一貫した教育の推進 学力調査等の分析を元にした授業研究会へ講師を派遣 学力調査及び質問紙調査の活用 結果分析を元にした授業改善や、児童生徒の学習改善 英語教育推進事業 <ol style="list-style-type: none"> 外国青年招致事業 小・中・義務教育学校に外国語指導助手を配置し、チームティーチングによる外国語指導を実施 生徒の英語力向上事業 客観的に生徒の英語力を把握するとともに、教員の見取りの力の向上及び指導改善につなげる <p>【R5年度予算のポイント】</p> <p>生徒の英語力向上を目指して重点的に取り組む</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	262,900 千円 (266,200 千円)	財源内訳	国県支出金	20,292 千円	その他	311 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(264,204 千円)		地方債	0 千円	一般財源	242,297 千円
担当課	教育委員会事務局指導課		連絡先		内線 3844	
担当者	課長 西山 径				直通 086-803-1591	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業					拡充
事業の趣旨・目的	子どもたちが安心して学校生活を送れるように、支援を必要とする子どもやその保護者に対して、相談や援助を行います。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 生徒指導関係事業 <ul style="list-style-type: none"> すべての子どもたちの健全な成長を促し、現在および将来における自己実現を 図っていくための自己指導能力の育成に向けた施策を計画・実施 不登校の兆候がある早期段階、また、長期欠席・不登校からの学校(教室)復帰を 目指して、校内の別室を活用した「校内支援教室」を設置し、不登校対策に係る支 援の在り方についての調査研究 特別支援教育支援員配置事業 障害のある児童生徒のために、学習・移動支援等で学校生活をサポート 不登校児童生徒支援員配置事業【拡充】 不登校の未然防止を図るため、別室登校等の児童生徒の支援を実施 スクールカウンセラー配置事業 いじめ、暴力行為、不登校等の課題に対し、児童生徒や保護者が相談しやすい体 制を構築 					
事業費 (前年度当初予算額)	469,718 千円 (497,838 千円)	財源内訳	国県支出金	43,954 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(473,829 千円)		地方債	0 千円	一般財源	425,764 千円
担当課	教育委員会事務局指導課		連絡先		内線 3845	
担当者	教育支援担当課長 一守 和弘				直通 086-803-1592	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	魅力ある教員の確保事業					新規
事業の趣旨・目的	教員採用試験において志願者が減少している中、試験日程の早期化への対応及び現役教員を対象とした採用試験を実施することで、さらなる良い人材の確保を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 試験日程の前倒し 教員採用第2次試験の問題作成を委託することで、試験日程の前倒しに対応し、良い人材を早い段階で確保</p> <p>2. 現役教員を対象とした採用試験の実施 既存の採用試験に加えて、現役教員を対象とした採用試験を実施し、即戦力を確保</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	8,300 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(9,406 千円)		地方債	0 千円	一般財源	8,300 千円
担当課	教育委員会事務局教職員課		連絡先		内線 3839	
担当者	課長 齋藤 靖				直通 086-803-1563	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	学校業務アシスト事業					拡充
事業の趣旨・目的	教員の業務の一部を軽減することで、教員が本来の専門性を活かした業務に専念できるとともに、子どもと向き合う時間を確保し、教育環境の向上を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】 子どもの健康観察のとりまとめや消毒作業等に対応するためにアシスト職員の配置時間数を拡充</p> <p>【R5年度予算のポイント】 さらなる負担軽減で、教員が本来の専門性を活かした業務に専念することで、岡山市教育大綱の二つの目標である「学力向上」及び「不登校減少」を実現</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	105,000 千円 (83,000 千円)	財源内訳	国県支出金	34,708 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(157,978 千円)		地方債	0 千円	一般財源	70,292 千円
担当課	教育委員会事務局教職員課		連絡先		内線 3839	
担当者	課長 齋藤 靖				直通 086-803-1563	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	部活動地域移行モデル事業					新規	
事業の趣旨・目的	将来にわたって、子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保します。また、学校における働き方改革も推進します。						
事業の概要	【事業内容】 1. 部活動指導員配置時間数を拡充 2. 部活動地域移行モデル事業の実施 ・モデル校への指導員派遣 ・運営組織の整備、検討 ・学校、保護者への理解促進 ・関係団体への意見聴取						
事業費 (前年度当初予算額)	13,300 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	4,243 千円	その他	0 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(14,220 千円)		地方債	0 千円	一般財源	9,057 千円	
担当課	教育委員会事務局保健体育課	内線	3850	担当課	スポーツ振興課	内線	4740
担当者	課長 藤井 健介	直通	086-803-1594	担当者	課長 唐井 努	直通	086-803-1616
担当課	文化振興課	内線	3740				
担当者	課長 岡村 誠	直通	086-803-1054				

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	学校給食費の公会計化					
事業の趣旨・目的	教職員が本来の専門性を活かし、子ども一人ひとりと向き合う時間等を確保するため、学校単位で行っている給食会計を公会計化します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 制度の周知 2. Webでの学校給食への申込及び口座振替の申請開始 3. スケジュール 令和4年度・・・制度設計、業務システムの開発 令和5年4月～9月・・・制度周知 令和5年10月・・・Web上で学校給食への申込開始 令和6年4月・・・公会計化へ移行					
事業費 (前年度当初予算額)	57,200 千円 (8,300 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(57,600 千円)		地方債	0 千円	一般財源	57,200 千円
担当課	教育委員会事務局保健体育課	連絡先		内線	3850	
担当者	課長 藤井 健介			直通	086-803-1595	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	学校特別教室空調設備整備事業					
事業の趣旨・目的	授業時数確保のための夏休みの短縮や授業に集中できる学習環境の整備、教職員の労働環境の改善等に対応するため、普通教室の空調設備整備完了に引き続き、岡山市立小中学校の特別教室にも空調設備を整備します。					
事業の概要	【事業内容】 発注者支援業務委託 特別教室へ空調設備を早期に整備するため、事業者の受注能力・入札参加意欲の調査、公募書類の作成等の発注者支援業務を委託					
事業費	52,200 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(2,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	52,200 千円
(今年度当初要求額)	(52,200 千円)					
担当課	教育委員会事務局学校施設課		連絡先	内線 3807		
担当者	課長 秋庭 一夫			直通 086-803-1576		

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	新岡山学校給食センター(仮称)整備事業					
事業の趣旨・目的	老朽化した岡山学校給食センターの移転建替えを行います。					
事業の概要	【事業内容】 1. 土地造成 整備場所:岡山市中区海吉地内 敷地面積:約8,700㎡ 2. 下水道敷設詳細設計 3. PFI事業の入札公告					
事業費	91,700 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(157,700 千円)		地方債	81,100 千円	一般財源	10,600 千円
(今年度当初要求額)	(92,000 千円)					
担当課	教育委員会事務局保健体育課		連絡先	内線 3850		
担当者	課長 藤井 健介			直通 086-803-1595		

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	GIGAスクール構想によるICT活用支援事業						拡充
事業の趣旨・目的	GIGAスクール構想で1人1台端末を配備している学校に対して、ICTのさらなる活用を促進するための運用支援や人的支援を行います。						
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1人1台端末等の活用を促進するためのICT環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の大型提示装置の更新や、映像教材などの使用増加に対応するためのネットワーク環境の改善を実施 ・保護者連絡ツールを導入し、学校と保護者間の連絡を迅速かつ負担なく実施 学校のICT活用をサポートする体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ICT支援員の配置によるICTを活用した授業づくりのサポート、また、端末やネットワークのトラブルを一元的に管理・対応するサポートチームの構成等により、学校からのニーズに迅速かつ丁寧に対応 <p>【R5年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末の活用を促進するICT環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> 小学校の大型提示装置の更新 映像教材等の使用増加に対応するためのネットワーク回線強化 ・ICT活用による学校及び保護者の負担軽減 <ul style="list-style-type: none"> 保護者連絡ツール導入・利用 						
事業費 (前年度当初予算額)	393,000 千円	財源内訳	国県支出金	27,783 千円	その他	0 千円	
(今年度当初要求額)	(261,000 千円) (470,382 千円)		地方債	0 千円	一般財源	365,217 千円	
担当課	教育委員会事務局教育研究研修センター		連絡先	直通 086-944-7255			
担当者	所長 名合 淳						

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	新教育研究研修センター(仮称)整備事業						新規
事業の趣旨・目的	子どもたちの成長を支える教職員の資質向上に資する教育研究研修センターの整備を図ります。						
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設計及び地質調査の実施 2. スケジュール <ul style="list-style-type: none"> 令和5～7年度 設計 令和5～6年度 地質調査 令和7～8年度 整備 令和8年度 供用開始予定 						
事業費 (前年度当初予算額)	37,000 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円	
(今年度当初要求額)	(0 千円) (37,182 千円)		地方債	0 千円	一般財源	37,000 千円	
担当課	教育委員会事務局教育研究研修センター		連絡先	直通 086-944-7255			
担当者	新センター整備担当課長 八木 信英						

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	夜間中学設立準備検討事業						
事業の趣旨・目的	義務教育を受けることができなかった方に対する学ぶ機会の保障に取り組みます。「夜間教室」を実施した経験を踏まえ、学び直しを希望する一定の条件を満たす方のニーズを把握したうえで、令和7年度までの「夜間中学」の設立を検討します。						
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. ニーズ調査・啓発等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学希望者の把握等を行うため、引き続き授業体験会を実施 ・リーフレット等を作成し啓発活動を実施 ・夜間中学開校に向けた啓発や機運を醸成するため、外部専門家を招いたシンポジウムを開催 <p>2. 先行実施市調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に夜間中学を開設している自治体や準備中の自治体への調査、視察を実施 <p>3. 教室等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山後楽館中学校・高等学校内に教室等(教室・職員室・駐車場)を整備するための改修設計を実施 <p>【R5年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間中学シンポジウムの開催 ・啓発・案内用リーフレット等作成 ・先行実施市視察 						
事業費	3,000 千円	財源内訳	国県支出金	384 千円	その他	0 千円	
(前年度当初予算額)	(1,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	2,616 千円	
(今年度当初要求額)	(3,240 千円)						
担当課	教育委員会事務局就学課	内線	3880	担当課	教育委員会事務局学校施設課	内線	3807
担当者	課長 松本 豊	直通	086-803-1587	担当者	課長 秋庭 一夫	直通	086-803-1576

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	公民館整備事業						
事業の趣旨・目的	「公共施設等総合管理計画個別施設計画(公民館・公民館分館)」に基づき、耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない公民館の整備を実施します。						
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>岡山中央中学校区公民館(仮称)建設事業</p> <p>旭公民館が老朽化し、未耐震のため、岡山中央中学校武道場との複合化による新たな公民館整備を実施</p> <p>[整備期間] 令和3年度～令和7年度 (令和7年度開館予定)</p> <p>[整備規模] 鉄骨造3階建</p>						
事業費	147,000 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	26,000 千円	
(前年度当初予算額)	(53,700 千円)		地方債	108,800 千円	一般財源	12,200 千円	
(今年度当初要求額)	(147,103 千円)						
担当課	教育委員会事務局生涯学習課	内線	3860	担当課	教育委員会事務局学校施設課	内線	3807
担当者	課長 上野 喜宣	直通	086-803-1608	担当者	課長 秋庭 一夫	直通	086-803-1576

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクト推進事業					
事業の趣旨・目的	持続可能な社会づくりを目指し、市域全体におけるSDGsの理解促進と新たな実践行動に繋げていくため、関連組織等と連携して、SDGsの学びの場や機会を設けていきます。また、ESDの啓発活動や活動団体の支援によりESD活動の拡大と質の向上に取り組み、ESDを推進することでSDGsの達成に貢献します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> SDGs未来都市推進事業 <ol style="list-style-type: none"> 「未来わくわくSDGsフェスタ」(SDGs普及啓発イベント)の実施 SDGs守ろう！海・川プロジェクト事業の実施 「岡山市SDGs推進パートナーズ」登録事業者向けSDGs研修等の実施 おかやまSDGsアワード、おかやまSDGsフェアへの協力 岡山ESDプロジェクト推進事業 <ol style="list-style-type: none"> おかやまSDGs・ESDなびによる情報発信(HPや番組の制作・放送) 岡山ESDプロジェクト参加団体の活動に対する補助 ESDコーディネータ養成研修の実施 ESDフォーラム、ESD岡山アワードの実施 持続可能な社会づくりの担い手を育成するための学生向けインターンシップの実施 <p>【R5年度予算のポイント】</p> <p>岡山市SDGs推進パートナーズ登録事業者向け研修等を実施し、SDGsの取組を推進</p>					
事業費	33,000 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(33,300 千円)		地方債	0 千円	一般財源	33,000 千円
(今年度当初要求額)	(33,073 千円)					
担当課	SDGs・ESD推進課		連絡先		内線 3761	
担当者	課長 岩田 裕久				直通 086-803-1351	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	区のまちづくりの推進				拡充	
事業の趣旨・目的	身近なまちづくりを推進するために、区民と行政が協働しながら、地域課題の解決に取り組めます。また、それぞれの区の地域資源や特色を活かした魅力発信を行います。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 北区 <ul style="list-style-type: none"> 北区の魅力発見・発信事業 警察と連携した防犯・交通安全の取組強化、公民館等でのワークショップの開催 中区 <ul style="list-style-type: none"> 地域の大学と区役所の包括連携による地域づくり事業 警察等と連携した交通安全等の取組強化 東区 <ul style="list-style-type: none"> 東区の魅力発信事業 地域住民による地域課題解決力向上事業 南区 <ul style="list-style-type: none"> 南区地域防災力強化事業 地域の絆づくり事業、町内会オンライン申請モデル事業 					
事業費	13,800 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(10,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	13,800 千円
(今年度当初要求額)	(14,508 千円)					
担当課	北区役所総務・地域振興課		内線		4190	
担当者	課長 生崎 章		直通		086-803-1655	
担当課	中区役所総務・地域振興課		内線		71-212	
担当者	課長 塩見 紀己代		直通		086-901-1601	
担当課	東区役所総務・地域振興課		内線		72-211	
担当者	課長 森安 和子		直通		086-944-5006	
担当課	南区役所総務・地域振興課		内線		73-310	
担当者	課長 岡崎 あゆ美		直通		086-902-3500	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	岡山市・プロヴディフ市50周年、新竹市20周年記念事業					新規
事業の趣旨・目的	令和4年度に姉妹都市縁組50周年を迎えたプロヴディフ市および令和5年度に友好交流協定締結20周年を迎える新竹市との交流をさらに深め、今後の継続的な交流の推進を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 岡山市・プロヴディフ市姉妹都市縁組50周年記念事業 <ul style="list-style-type: none"> ・プロヴディフ市訪問団の受入 岡山市・新竹市友好交流協定締結20周年記念事業 <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市民親善訪問団を新竹市に派遣 ・新竹市民親善訪問団の受入 ・岡山市新竹市学生交流写真展 					
事業費 (前年度当初予算額)	3,600 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(3,666 千円)		地方債	0 千円	一般財源	3,600 千円
担当課	国際課		連絡先		内線 3250	
担当者	課長 大原 健二				直通 086-803-1112	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	生涯活躍就労支援事業					
事業の趣旨・目的	高齢者等、誰もが地域や社会で役割を持って活躍できる“生涯現役社会”を実現し、市民の健康維持及び自立を推進します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 民間就労支援機関、社会福祉協議会を通じ、高齢者等就労に課題を抱える人に対する就労支援を実施 2. 企業等に対し、高齢者等の雇用に関する意識改革や労働条件の見直しについて働きかけを実施					
事業費 (前年度当初予算額)	33,500 千円 (68,328 千円)	財源内訳	国県支出金	18,106 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(35,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	15,394 千円
担当課	地域包括ケア推進課		連絡先		内線 5985	
担当者	課長 立古 俊典				直通 086-803-1246	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	アプリを活用した健康的な生活習慣推進事業					新規
事業の趣旨・目的	18歳以上の市民・在勤・在学者を対象に、健康に資する取組にインセンティブを付与することで、健康意識や日々の活動量を高め、若い頃からの健康的な生活習慣の定着を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 1. (1)参加目標 30,000人 (2)スケジュール(案) ・令和5年4月～ 事業準備、プロモーション実施 ・令和5年夏頃 事業開始 2. 過年度に実施した健康ポイント事業(おかもやまケンコー大作戦)を踏まえ、引き続き「運動」、「栄養・食生活」、「社会参加」の3つの活動にポイントを付与 また、官民・庁内連携を拡大し、自然と健康になれる環境づくりを目指す 【R5年度予算のポイント】 健康の捉え方を広げ、日常生活の中で、アプリを活用して楽しみながら、気軽にポイントが獲得できる仕組みを構築					
事業費 (前年度当初予算額)	80,000 千円 (48,305 千円)	財源内訳	国県支出金	30,837 千円	その他	18,325 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(80,055 千円)		地方債	0 千円	一般財源	30,838 千円
担当課	保健管理課		連絡先		内線 5750	
担当者	課長 森 公造				直通 086-803-1250	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	若年層に対する自殺予防対策事業					拡充
事業の趣旨・目的	コロナ禍による自殺リスクを抱える若年層への自殺予防対策として、啓発活動により相談窓口の周知を図ることで自殺予防相談につなげるとともに、大学等との連携により学生が互いのこころの不調や悩みに気づき合える環境づくりを進めます。					
事業の概要	【事業内容】 1. 普及啓発 ・自殺予防相談へ結び付けるため、専用サイトへ誘導するリスティング広告(検索連動型広告)を掲載 ・啓発動画による相談窓口の周知 2. 市内大学等との連携 ・ユースゲートキーパー養成研修の実施 ・大学等保健管理部門メンタルヘルス連絡会(仮称)を実施					
事業費 (前年度当初予算額)	4,340 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	2,170 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(4,348 千円)		地方債	0 千円	一般財源	2,170 千円
担当課	保健管理課		連絡先		内線 5750	
担当者	課長 森 公造				直通 086-803-1251	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	フレイル対策事業					拡充
事業の趣旨・目的	高齢者が要介護状態に陥ることの予防を目的に、薬局など市民の身近な場所でフレイルチェックを実施し、介護予防の取組につなげます。					
事業の概要	【事業内容】 1. 薬局など市民の身近な場所でフレイルチェックの機会の提供 2. 専門職がチェックの結果を元に、個々の状態に応じたアドバイス・指導や介護予防の取組先(地域資源)を提供 3. フレイルチェックを補助するサポーターの養成 4. フレイル予防に関する周知・啓発 【R5年度予算のポイント】 新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控える傾向にある高齢者へのアプローチ 1. フレイルチェック機会の拡充 ・強化月間の設定、民間企業と連携した取組、出張チェックの拡大など 2. 孤立しやすいシニアに対するアプローチ ・フレイル該当者や孤立しやすい高齢者単身世帯への注意喚起の案内					
事業費 (前年度当初予算額)	10,400 千円 (8,000 千円)	財源内訳	国県支出金	3,900 千円	その他	5,200 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(10,435 千円)		地方債	0 千円	一般財源	1,300 千円
担当課	地域包括ケア推進課		連絡先		内線 5985	
担当者	課長 立古 俊典				直通 086-803-1256	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	がん対策事業					拡充
事業の趣旨・目的	新型コロナウイルス感染症により低下したがん検診受診率の向上を図り、がんの早期発見の推進に向けて取り組みます。また、がん治療によるアピアランス(外見)の変化が生じても自分らしく社会活動が継続できるように支援し、がんとの共生を目指します。					
事業の概要	【事業内容】 1. がん検診の個別受診勧奨・再勧奨の実施【拡充】 罹患率等を踏まえ、はがき等により、がん検診について個別の受診勧奨を実施 2. がん患者アピアランスサポート事業【新規】 がん治療に伴う脱毛に対応するために必要なウィッグの購入経費を補助 (1)対象者:治療により脱毛が生じた又はそのおそれがある市民 (2)補助対象経費:全頭用ウィッグの購入費用 (3)補助金額:購入費用の2分の1(上限金額3万円)					
事業費 (前年度当初予算額)	12,600 千円 (3,438 千円)	財源内訳	国県支出金	2,700 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(5,400 千円)		地方債	0 千円	一般財源	9,900 千円
担当課	保健管理課		連絡先		内線 5750	
担当者	課長 森 公造				直通 086-803-1251	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業					
事業の趣旨・目的	市民の新型コロナウイルスワクチンの接種に必要な体制等を確保します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 接種体制 ・身近なかかりつけ医等での個別接種(約400医療機関) 2. 主な事業 ・コールセンターの設置 ・接種券の発送 ・新型コロナウイルスワクチンの保管・配送 ・接種証明書の発行 3. 事業期間 ・令和5年4月～7月 ※国の新型コロナウイルスワクチン接種事業の方針に合わせて実施					
事業費 (前年度当初予算額)	2,944,000 千円 (6,517 千円)	財源内訳	国県支出金	2,944,000 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(2,944,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	0 千円
担当課	保健管理課		連絡先		内線 4000	
担当者	新型コロナウイルス予防担当課長 大下 奈美枝				直通 086-803-1310	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	生活支援サービス体制整備事業					
事業の趣旨・目的	高齢者の在宅生活を支えるために、多様な主体による生活支援等サービスが提供可能な体制づくりを支援します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 生活支援コーディネーターを配置し、地域の実情を踏まえた地域住民等の自主的な取組を促進できるよう支援し、支え合い、助け合い活動を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2層協議体設置地域数 令和3年10月:58地域 令和4年10月:62地域 ・支え合い活動実施地域数 令和3年10月:32地域 令和4年10月:39地域 ・支え合い活動拡充地域数 8地域が活動を拡充(令和3年10月:32地域の内) <p>2. 地域で支え合いの地域づくりを進めるため、生活支援等の担い手として生活支援サポーターを養成</p> <p>【R5年度予算のポイント】</p> <p>新型コロナウイルス感染症を踏まえた事業の実施 活動を休止、縮小している協議体等に対し好事例の紹介やワークショップを開催するなど、活動を再開・継続できるように、引き続き支え合い推進員によるサポートを実施</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	93,400 千円 (92,300 千円)	財源内訳	国県支出金	53,939 千円	その他	21,481 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(93,478 千円)		地方債	0 千円	一般財源	17,980 千円
担当課	地域包括ケア推進課		連絡先		内線 5991	
担当者	課長 立古 俊典				直通 086-803-1286	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	在宅介護総合特区～AAAシティおかやま～の推進					拡充
事業の趣旨・目的	在宅介護に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進めます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>(1)介護機器貸与モデル事業 在宅で生活する人の自立につながる介護機器を1割負担で貸与</p> <p>(2)訪問介護インセンティブ事業 利用者の状態の維持改善を図る訪問介護事業所を表彰</p> <p>(3)高齢者活躍推進事業 介護事業所で就労活動等の提供が可能になるよう国との協議等を実施</p> <p>(4)総合特区推進に係る経費 国との協議に係る費用や事務費</p> <p>【R5年度予算のポイント】</p> <p>訪問介護インセンティブ事業を拡充し、連携することができる専門職について、従来のリハビリだけでなく、口腔ケア、栄養ケア分野を追加</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	39,540 千円 (63,900 千円)	財源内訳	国県支出金	17,769 千円	その他	13,026 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(39,551 千円)		地方債	0 千円	一般財源	8,745 千円
担当課	医療政策推進課		連絡先		内線 5820	
担当者	課長 金安 孝浩				直通 086-803-1636	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	在宅医療介護・在宅看取り等普及啓発事業					新規
事業の趣旨・目的	人生の最終段階の過ごし方を利用者が選択できる環境づくりを医師会等と協働で進めます。在宅医療介護サービスについて、地域事情に応じた効果的な施策を検討したり、利用者が選択する上で必要な情報を提供するイベントを地域ごとに開催します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域医療・介護ワーキングの実施 <ul style="list-style-type: none"> 地域事情に応じた在宅医療介護サービスの提供体制を構築するため、地域ごとに施策等を検討するワーキングを設置し、在宅医療介護を推進 ワーキング数: 3地域 メンバー: 医師会、在宅医、病院医、アドバイザー(大学等の医学関係有識者)等 在宅看取り等普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> 在宅看取り等を行う地域の医師等による市民向け普及啓発イベントの実施 対象地域数: 6地域 <p>【R5年度予算のポイント】</p> <p>地域医療の検討や、地域の実情に応じたワーキング・普及啓発を行うことで、より効果的な在宅医療介護の推進を目指す</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	7,140 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	4,123 千円	その他	1,642 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(8,040 千円)		地方債	0 千円	一般財源	1,375 千円
担当課	医療政策推進課		連絡先		内線 5820	
担当者	課長 金安 孝浩				直通 086-803-1636	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	認知症サポーター活動促進事業(チームオレンジ)					拡充
事業の趣旨・目的	認知症の人がどう暮らしていきたいかの「声」を聴いた地域づくりを推進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 認知症の人が社会とつながる安心感を持って暮らし続けられるような環境を整える体制(以下、チームオレンジ)の立ち上げ支援 <ol style="list-style-type: none"> 町内会等で地域における認知症の人の生活について、ステップアップ講座を実施し、課題を共有 認知症の人やその家族の支援ニーズを把握・整理し、関心を持った地域・企業・認知症サポーターとマッチングを実施 講座受講後、認知症当事者との交流を促進 チームオレンジの活動運営に対する助言 <p>認知症サポートリーダー等、中核的な役割を担うメンバーに対して活動の助言を行い、活動運営についての情報提供、チーム内の調整等の支援を実施</p> <p>【R5年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> R4年度に活動中の3福祉区に加え、残り3福祉区も段階に応じた立ち上げ支援を実施 市内の活動を掲載したパンフレットを作成し、『認知症の人がどう暮らしていきたいかの「声」を聴いた地域づくり』への理解を広める 					
事業費 (前年度当初予算額)	7,900 千円 (7,000 千円)	財源内訳	国県支出金	4,563 千円	その他	1,816 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(7,985 千円)		地方債	0 千円	一般財源	1,521 千円
担当課	高齢者福祉課		連絡先		内線 5960	
担当者	課長 高木 真二郎				直通 086-803-1230	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地域共生社会の推進(重層的支援体制整備事業)(再掲) 拡充					
事業の趣旨・目的	複雑化・複合化した課題を抱えた世帯に対して、市の関係課・相談機関が連動して支援を行う総合相談支援体制づくりに加えて、「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施することで、地域共生社会のさらなる推進を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 1. 包括的相談支援事業 相談者の属性に関わらず包括的に相談を受け止め適切なサービスを提供 2. 参加支援事業 若者から高齢者まで幅広い層を対象とし、個々の課題やニーズに応じて就労や通いの場など、社会とのつながりが定着するまでの支援を実施 3. 地域づくりに向けた支援事業 社会参加の場や地域で受け止めるための環境整備、受け皿の充実を促進 4. アウトリーチ等を通じた継続的支援事業 就労準備段階からの訪問活動等を通じた伴走型支援を実施 5. 多機関協働事業 相談支援包括化推進員を配置し、複雑・複合課題を抱える世帯への支援を実施 6. 支援プランの作成 個別支援プランを作成し、支援方針決定や進捗確認を実施					
事業費 (前年度当初予算額)	1,733,278 千円 (1,629,664 千円)	財源内訳	国県支出金	1,078,089 千円	その他	245,510 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(1,736,554 千円)		地方債	500 千円	一般財源	409,179 千円
担当課	保健福祉企画総務課(他9課)		連絡先		内線 5806	
担当者	課長 室住 麻子				直通 086-803-1204	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	障害者就労支援事業					
事業の趣旨・目的	障害者の自立と社会参加の重要な柱となる就労に向けて、障害者がその適性や能力に応じた多様な働き方を選択できるよう、一般就労と職場定着を支援するとともに、一般就労が困難な障害者が働く障害者就労施設における工賃向上を支援します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 障害者一般就労支援事業の実施 ・障害者を雇用する企業、職場実習の受け入れ企業の開拓 ・福祉施設から一般就労への移行支援 ・職場実習支援 ・障害者就職面接会の開催 ・就労支援セミナー、企業交流会等の開催 2. 障害者一般就労定着支援事業の実施 ・働く障害者のための交流拠点事業 3. 障害者工賃向上支援事業の実施 ・障害者製作商品販売等事業 ・障害者就労支援施設商品ブラッシュアップ事業 ・工賃向上支援アドバイザー派遣事業 ・障害者就労支援施設工賃レベルアップ事業 ・販路拡大・売上向上事業					
事業費 (前年度当初予算額)	40,000 千円 (39,260 千円)	財源内訳	国県支出金	4,500 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(40,383 千円)		地方債	0 千円	一般財源	35,500 千円
担当課	障害福祉課		連絡先		内線 5737	
担当者	課長 小西 一郎				直通 086-803-1234	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	生活困窮者等自立支援事業(再掲)					
事業の趣旨・目的	生活困窮者自立支援法に基づき、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある人を対象に自立に向けた支援を行います。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 生活困窮者自立相談支援事業 ワンストップ型の相談窓口により、一人ひとりの状況に応じた支援計画を作成し、生活保護に至る前の段階から早期に支援 住居確保給付金の支給(市独自で基準を緩和して支給) 離職や休業等で住居を失うおそれのある方等へ家賃額を支給 就労支援事業 一人ひとりの特性や状況に応じた複数の事業を展開し、就労や社会参加に向けたきめ細かな支援を実施 一時生活支援事業 住居を持たない生活困窮者に対して衣食住の提供や自立に向けた支援を実施 家計改善支援事業 自立のために家計収支全体の改善や家計管理能力の向上の支援を実施 子どもの学習支援事業(通所型に加え訪問・リモート型の事業も実施) 学習支援により、基礎学力の向上を図るとともに、生活に関する支援も実施 					
事業費 (前年度当初予算額)	480,000 千円 (507,400 千円)	財源内訳	国県支出金	300,598 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(483,575 千円)		地方債	0 千円	一般財源	179,402 千円
担当課	生活保護・自立支援課		連絡先		内線 5940	
担当者	課長 出原 晋一郎				直通 086-803-1349	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	野犬対策事業					拡充
事業の趣旨・目的	捕獲要望が多い市内の野犬について、ボランティアに対する支援を強化し、さらなる捕獲促進を図ります。また、捕獲数が増えることでひっ迫する収容から譲渡までの体制を強化し、『殺処分ゼロ』を継続するための持続可能な体制を構築します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 野犬等の捕獲促進事業及び収容施設の体制整備の拡充 (1)防獣ネット等の捕獲に必要な物品の配布 (2)犬の捕獲数増進のための一時収容施設の管理体制の強化 収容犬の飼養保管から譲渡までの管理費及び事業委託費の拡充 (1)一時収容施設の飼料費・動物用医薬品の拡充 (2)捕獲数増加に伴う譲渡動物飼養保管委託の拡充 収容から譲渡までの短期化を図るための犬の人馴れ訓練の事業化 (1)ボランティアによる日々の訓練に加え、プロの訓練士による訓練の実施 (2)一般市民へ向けた人馴れ訓練の普及啓発(ふれあい教室の開催) 人馴れ訓練犬を活用した情操教育の実施(動物のいのちを考える教室) <p>【R5年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の野犬捕獲を促進し地域住民の不安解消に努めるとともに、捕獲した犬の譲渡を推進し、殺処分ゼロを継続 動物愛護事業の取組を教育分野に活かし、児童生徒の情操教育に貢献 					
事業費 (前年度当初予算額)	33,000 千円 (11,497 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	2,200 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(36,399 千円)		地方債	0 千円	一般財源	30,800 千円
担当課	保健管理課		連絡先		内線 5766	
担当者	生活衛生担当課長 安藤 省二				直通 086-803-1276	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	下水道・河川等による浸水対策事業					
事業の趣旨・目的	平成30年7月豪雨による広範囲の浸水被害を受け、平成31年4月に見直した岡山市浸水対策基本計画及び行動計画に基づき、下水道や河川の整備を進めるとともに、既存ストックを活用した対策や、市民、事業者と連携した総合的な浸水対策に取り組みます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画的な下水道施設・河川施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> 今保・白石ポンプ場の建設工事 【令和5年度供用予定】 浦安11号幹線(1工区)雨水管築造工事 【令和6年度供用予定】 山崎地区の河川排水機場の建設工事 【令和6年度供用予定】 既存ストックの活用、機能保全強化 <ul style="list-style-type: none"> 河川排水機場の設備更新工事(原尾島、中川、今谷、沢田)及び設備更新詳細設計(熊谷川、砂川) 市管理河川の計画的な浚渫・樹木伐採 市民・事業者の自助・共助の促進、意識啓発による地域防災の推進 <ul style="list-style-type: none"> 雨水流出抑制施設設置、雨水貯留タンク設置、止水板設置などの助成 市民への土のう配布【年5回配布】、町内会への可搬式ポンプ貸与 <p>【R5年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 浦安11号幹線雨水管築造工事を継続実施 今保・白石ポンプ場の建設工事、河川排水機場の設備更新(長寿命化)を継続 					
事業費 (前年度当初予算額)	3,093,503 千円 (3,613,100 千円)	財源内訳	国県支出金	724,199 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(3,093,616 千円)		地方債	2,200,400 千円	一般財源	168,904 千円
担当課	下水道河川計画課		連絡先		内線 4970	
担当者	課長 荒木 雄一				直通 086-803-1502	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	新庁舎整備事業					
事業の趣旨・目的	本庁舎は建設から50年以上が経過し、老朽化が進むとともに、耐震基準も満たしていません。災害対応の中心となる防災拠点として整備するだけでなく、さらなる行政サービスの向上と事務の効率化を図るため、建替えによる整備を進めます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>新庁舎建設の工事 [整備期間 令和2年度～令和8年度] 今後のスケジュール 令和4～8年度 新庁舎建設工事 令和8年度 新庁舎供用開始</p> <p>【R5年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新庁舎建設工事 新庁舎レイアウト(家具什器)作成 2期工事(周辺施設整備)のPFI等導入可能性調査 2期工事敷地の土壌汚染調査(地歴) 					
事業費 (前年度当初予算額)	2,122,000 千円 (544,000 千円)	財源内訳	国県支出金	26,400 千円	その他	247,700 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(2,123,366 千円)		地方債	1,847,900 千円	一般財源	0 千円
担当課	新庁舎整備課		連絡先		内線 3350	
担当者	課長 柳 徳見				直通 086-803-1151	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	道路施設の長寿命化事業					拡充
事業の趣旨・目的	道路施設の老朽化が進み、今後一斉に更新時期を迎える状況を鑑み、定期点検を実施し作成した個別施設の長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕・補修を行うことで、費用を低減・平準化するとともに、道路施設の長寿命化を図ります。					
事業の概要	【事業内容】 長寿命化修繕計画に基づく道路メンテナンスを実施 (1)幹線舗装補修(延べ20km) (2)橋梁長寿命化(定期点検:約840橋、補修設計:21橋、橋梁補修:69橋)					
事業費	2,377,500 千円	財源内訳	国県支出金	785,125 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(1,526,500 千円)		地方債	1,343,500 千円	一般財源	248,875 千円
(今年度当初要求額)	(2,408,300 千円)					
担当課	道路港湾管理課		連絡先		内線 3660	
担当者	課長 杉本 章				直通 086-803-1416	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	用水路等転落防止対策事業					
事業の趣旨・目的	市民が用水路等へ転落することによる死傷事故が度々発生しており、用水路等の転落に対する安全対策を集中的に実施してきましたが、いまだ転落事故は発生しているため、引き続き危険箇所に対する安全対策を実施します。					
事業の概要	【事業内容】 1. 用水路危険箇所の安全対策工事の実施 平成28年度に実施した危険箇所一斉点検結果をもとに抽出した危険箇所2,507箇所について、順次対策を実施 令和4年度まで 2,507箇所の対策を概ね完了予定 2. 新たに確認された危険箇所の安全対策工事の実施 平成27年9月以降に発生した用水路転落事故で新たに確認された危険箇所約100箇所について、対策を実施 令和5年度 約100箇所の対策を実施予定 3. 転落事故の割合が比較的多い高齢者に向けた注意喚起ビラを作成し、各町内、区役所、公民館などへ配布					
事業費	50,000 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(210,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	50,000 千円
(今年度当初要求額)	(5,000 千円)					
担当課	道路港湾管理課		内線	3660		担当課
担当者	課長 杉本 章	直通	086-803-1416		担当者	課長 金月 晃宏
					内線	4570
					直通	086-803-1348

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	水道施設・管路耐震化等更新事業					
事業の趣旨・目的	市民のライフライン確保という重要な役割を果たすため、水道施設や管路の更新及び災害対策を推進し、安定供給の継続を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 激甚化する災害に備えた水道施設・管路の強靱化</p> <p>(1)本市基幹浄水場である三野浄水場の計画的更新・耐震化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三野浄水場脱水施設更新工事[整備期間 令和2年度～令和5年度] <p>(2)大規模震災を見据えた幹線の強靱化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官公庁や災害拠点病院等の災害時拠点施設へ至る管路の更新・耐震化 ・断水被害の軽減・復旧の迅速化を目的とした配水管網のブロック化 <p>(3)風水害に備えた水道施設の強靱化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨災害に備えた浄水施設への浸水対策工事 ・停電時に備えた主要出先施設への非常用動力施設の整備 <p>2. 水道施設・管路の計画的更新</p> <p>アセットマネジメントに基づく効果的な施設・管路の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽管更新延長:16.7km ・旭東浄水場受配電設備ほか更新工事[整備期間 令和3年度～令和5年度] 					
事業費	8,594,000 千円	財源内訳	国県支出金	34,333 千円	その他	1,276,713 千円
(前年度当初予算額)	(8,675,000 千円)		地方債	3,000,000 千円	一般財源	4,282,954 千円
(今年度当初要求額)	(8,797,509 千円)					
担当課	水道局経営管理課		連絡先 直通 086-234-5914			
担当者	課長 小松 佳和					

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	下水道施設の耐震化・再構築(リノベーション)事業					
事業の趣旨・目的	市民生活に重大な影響を及ぼす下水道施設の機能停止等を未然に防止するため、下水道施設の改築更新、耐震化を行います。また、将来の改築事業費の削減等を図るため、施設の統廃合など下水道施設の再構築(リノベーション)を進めます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 南海トラフ巨大地震等の発生に備えた下水道施設の耐震化及び老朽化対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡南ポンプ場、旭西排水センター、平井排水センターの設備更新及び耐震化工事 ・笹ヶ瀬ポンプ場の設備更新 ・緊急輸送道路等下のマンホールの浮上防止対策工事 <p>2. 大規模災害時における避難所の機能向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横井、御野、操明、東畦小学校に災害時用マンホールトイレを設置 <p>3. 農業集落排水処理施設の統廃合の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水処理施設を公共下水道等近隣の処理区へ統廃合 <p>【R5年度予算のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理場、ポンプ場の改築更新事業及び管渠の老朽化対策を継続実施 					
事業費	3,007,209 千円	財源内訳	国県支出金	864,694 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(3,843,455 千円)		地方債	1,742,900 千円	一般財源	399,615 千円
(今年度当初要求額)	(3,196,312 千円)					
担当課	下水道河川計画課		連絡先 内線 4970			
担当者	課長 荒木 雄一		直通 086-803-1502			

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地域防災力強化事業					拡充
事業の趣旨・目的	自主防災組織を中心とした地域防災活動への支援のほか、災害の激甚化及び感染症対策を踏まえた備蓄物資保管場所の確保、ハザードマップの全戸配布により、地域の防災力強化を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主防災組織等育成事業 <ol style="list-style-type: none"> (1)自主防災組織の新規結成や訓練、学習会、個別避難計画の作成などの活動に要する経費への助成 (2)個別避難計画の作成やハザードマップの活用、避難所運営等についての理解、協力を得るための説明会の実施 (3)福祉事業者への個別避難計画作成業務委託 (4)災害時の防災活動中の事故等に対する補償【新規】 2. 備蓄倉庫等整備事業 <ol style="list-style-type: none"> (1)集中備蓄倉庫用のパレット等、資器材の整備 (2)中区集中備蓄倉庫の設計 (3)東区集中備蓄倉庫の整備 (4)分散備蓄倉庫の整備(市立小学校等3か所) 3. 各種ハザードマップの全戸配布 地域ごとの被災想定区域に応じたハザードマップを配布 					
事業費	481,400 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(307,304 千円)		地方債	362,500 千円	一般財源	118,900 千円
(今年度当初要求額)	(494,958 千円)					
担当課	危機管理室		連絡先		内線 5854	
担当者	地域防災担当課長 井上 義浩				直通 086-803-1082	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	消防署所適正配置事業					
事業の趣旨・目的	増加する救急需要と多様化する各種災害に的確に対応するため、消防力のバランスに配慮した適正な場所に消防署所を配置及び維持管理し、いついかなる時も、求める人すべてに等しく、より安心して質の高い消防サービスを提供します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>消防局総合計画(消防署所適正配置)及び消防局個別施設計画に基づき、南消防署妹尾出張所を南区妹尾地内に建替整備</p> <p>スケジュール 令和4年度:境界確定、土木設計、基本設計 令和5年度:土木工事、実施設計 令和6年度:建築工事、運用開始</p>					
事業費	79,594 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(8,400 千円)		地方債	75,000 千円	一般財源	4,594 千円
(今年度当初要求額)	(79,704 千円)					
担当課	消防企画総務課		連絡先		内線 3770	
担当者	課長 堀川 直彦				直通 086-234-9970	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	水難救助訓練施設整備事業					
事業の趣旨・目的	消防職団員の災害対応力の向上、安定した水難救助訓練環境の確保及び市民の防災意識向上のため、模擬体験可能な風水害体験施設を備えた水難救助訓練施設を整備します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度、南区浦安南町に開署した南消防署敷地内に、水難救助訓練施設及び風水害体験施設を整備 ・整備後、岡山連携中枢都市圏による連携事業として訓練・啓発活動を実施 <p>スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度：基本設計、実施設計 令和4年度：実施設計 令和5年度：建築工事 令和6年度：建築工事、運用準備 					
事業費	404,815 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(24,335 千円)		地方債	362,500 千円	一般財源	42,315 千円
(今年度当初要求額)	(405,341 千円)					
担当課	消防企画総務課		連絡先		内線 3770	
担当者	課長 堀川 直彦				直通 086-234-9970	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	防犯カメラ設置支援事業					拡充
事業の趣旨・目的	犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進するため、地域における自主的な防犯活動に対する取組を支援します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内会等の住民団体への防犯カメラの購入及び設置工事費等に要する経費に対する補助 従来の新設に対する補助に加え、取替に対する補助をR5年度から追加 					
事業費	18,000 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(18,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	18,000 千円
(今年度当初要求額)	(18,000 千円)					
担当課	生活安全課		連絡先		内線 3230	
担当者	課長 江口 英典				直通 086-803-1106	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	地球温暖化対策事業						拡充
事業の趣旨・目的	脱炭素社会の実現に向けて、市民や事業者等と連携し、再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの推進、環境にやさしいライフスタイルや事業活動への転換等に取り組み、温室効果ガスの排出削減を図ります。						
事業の概要	【事業内容】 1. プラスチック資源の分別回収・リサイクル【新規】 家庭から排出されるプラスチック資源を分別回収し、中間処理の実施後、再生処理 2. 食品ロス削減推進事業 マッチングサイトにより、食品小売店等で食品ロスになりそうな食品の減量を実現 3. 学校給食の食品リサイクル事業【新規】 焼却処理している給食残渣をメタン発酵処理施設に搬入し食品リサイクルを実施 4. ZEH普及啓発事業【新規】 住宅のZEH化の更なる普及拡大を図るための啓発活動を実施 5. スマートエネルギー導入促進事業補助金 市民・事業者におけるスマートエネルギー化を促進 6. その他 ゼロカーボン研究会、太陽光発電設備等共同購入事業、電力の自己託送事業 など						
事業費 (前年度当初予算額)	1,646,959 千円 (527,586 千円)	財源内訳	国県支出金	70,833 千円	その他	1,900 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(1,819,654 千円)		地方債	608,164 千円	一般財源	966,062 千円	
担当課	環境保全課	内線	3990	担当課	環境事業課	内線	3970
担当者	課長 原田 昇	直通	086-803-1282	担当者	課長 岡崎 功	直通	086-803-1297
担当課	環境施設課	内線	3980	担当課	教育委員会事務局保健体育課	内線	3850
担当者	課長 加藤 孝志	直通	086-803-1311	担当者	課長 藤井 健介	直通	086-803-1595

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	道路照明灯LED化事業						
事業の趣旨・目的	大半が更新時期を迎えている道路照明灯について、民間事業者の資金、技術力を活用し、従来型の照明を早期にLED化することにより、ランニングコスト、電気料金、温室効果ガス排出量の削減を図ります。						
事業の概要	【事業内容】 1. 岡山市が管理する道路照明灯のうち、LED化が図られていない道路照明灯の早期のLED化を実施 市内道路照明灯約7,300灯についてLED化 2. 令和3年度はESCO事業※の契約者がLED化に向けた設計・工事に着手 3. 令和4年度から、ESCO事業の契約者によるESCOサービス開始 ※ESCO事業・・・道路照明灯をLED化することで得られる光熱水費等の削減分をもって、LED灯への交換や維持管理に係る経費を賄う事業形態						
事業費 (前年度当初予算額)	87,468 千円 (63,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円	
事業費 (今年度当初要求額)	(90,000 千円)		地方債	0 千円	一般財源	87,468 千円	
担当課	道路港湾管理課	連絡先		内線	3660		
担当者	課長 杉本 章			直通	086-803-1416		

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	海ごみ地域対策推進事業					拡充
事業の趣旨・目的	瀬戸内海へ流入する海ごみの約7割が陸から流入していることを広く市民に周知し、街中でのポイ捨てや意図しない環境への流出を未然に防ぐとともに、海洋に流出しないよう関係団体等と連携して対策を推進します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海洋プラスチックごみ対策ワークショップの開催 海洋プラスチックごみ対策アクションプランに基づき、瀬戸内海の海洋・水質保全のため、関係各局と有識者、活動家等が意見交換を実施 2. 啓発イベントの開催 瀬戸内海の水質保全のため、街中や河川、海岸等の清掃イベントを開催 3. 先進技術を用いた河川等のホットスポット調査 衛星画像や航空写真のAI解析など先進技術を用いて、市内のホットスポットを把握する実証実験を実施 4. 市民ボランティア支援 市民のボランティア活動を支援するため、市民ボランティアが河川等の清掃で集めたごみの収集運搬・処理を支援 5. 啓発資材や啓発教材の作成 ジョギングをしながらごみ拾いをするプロギングや、海ごみ問題を周知・啓発するグッズを作成 					
事業費 (前年度当初予算額)	10,000 千円 (2,000 千円)	財源内訳	国県支出金	7,000 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(14,159 千円)		地方債	0 千円	一般財源	3,000 千円
担当課	環境事業課		連絡先		内線 3970	
担当者	課長 岡崎 功				直通 086-803-1297	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	プラスチック資源分別回収・リサイクル事業(再掲)					新規
事業の趣旨・目的	地球温暖化に伴う気候変動の影響により、自然災害が増加してきていることから、脱炭素社会の実現に向けて、令和6年3月から、現在、焼却処理しているプラスチック資源の分別回収・リサイクルを実施し、温室効果ガスの排出削減を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プラスチック資源の分別・排出ルール等の周知啓発 分別・排出ルール等の周知啓発のため、メディア、SNS等の活用や啓発イベントを開催 2. プラスチック資源の分別回収の実施 ごみステーションに排出されたプラスチック資源を回収し、中間処理施設へ搬入 3. プラスチック資源の中間処理 回収したプラスチック資源をリサイクル事業者へ引き渡すために、選別・圧縮・梱包 4. プラスチック資源のリサイクル 中間処理されたプラスチック資源をリサイクル事業者へ引き渡し、再商品化 					
事業費 (前年度当初予算額)	184,800 千円 (0 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(233,557 千円)		地方債	0 千円	一般財源	184,800 千円
担当課	環境事業課		連絡先		内線 3970	
担当者	課長 岡崎 功				直通 086-803-1297	

事務事業名	ごみ処理広域化処理施設整備・運営事業					
事業の趣旨・目的	老朽化した岡南環境センターを更新し、ダイオキシン類削減対策やサーマルリサイクルの促進等を図るため、2市1町の可燃ごみを処理する施設を岡南環境センター敷地に整備し、20年間運営することで、安全・安心で安定的なごみ処理を実現します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <p>1. 玉野市、久米南町と連携し、岡山市が主体となって広域的なごみ焼却処理施設を建設</p> <p>(1)岡南環境センターの解体工事</p> <p>(2)3つの政策効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の集約化により経済性(施設維持管理費等)が向上 ・施設の強靱化及び災害時のごみ処理能力の確保 ・ダイオキシン類、温室効果ガス排出量の抑制 <p>(3)スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度～令和8年度・・・解体・建設工事 ・令和9年度～令和28年度・・・運営 <p>2. 広域処理施設建設中における岡山市の可燃ごみの一部を市外処理</p> <p>(1)令和4年度～令和8年度間の廃棄物処理(運営・運搬・処理)を適切に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中継施設の運営 ・処理は倉敷市及び民間処理施設に委託 					
事業費	3,088,000 千円	財源内訳	国県支出金	490,727 千円	その他	473,741 千円
(前年度当初予算額)	(1,377,700 千円)		地方債	1,195,700 千円	一般財源	927,832 千円
(今年度当初要求額)	(3,089,312 千円)					
担当課	環境施設課		連絡先		内線 3981	
担当者	広域処理施設担当課長 服部 義和				直通 086-803-1420	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	外部専門人材活用事業					
事業の趣旨・目的	企業等の最前線で活躍する高い専門性を持った人材を登用し、既存の行政の考え方や枠組みに捉われない柔軟な発想やアイデアによって、多様化・複雑化する行政課題の解決を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】 市が強化すべき重点分野において、各業界の最前線で活躍する高い専門性を持った人材を、「戦略マネージャー」として活用</p> <p>[活用分野] ・DX ・教育DX ・脱炭素 ・広報動画 ・戦略的な広報活動 など</p>					
事業費 (前年度当初予算額)	9,290 千円 (10,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(9,298 千円)		地方債	0 千円	一般財源	9,290 千円
担当課	政策企画課		連絡先		内線 3587	
担当者	地方創生・政策調整担当課長 岡本 浩司				直通 086-803-1043	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	業務改革推進事業					
事業の趣旨・目的	岡山市第六次総合計画後期中期計画に掲げるBPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)を本格化させ、全庁業務量調査で抽出された課題のある業務のプロセスを1から見直すことにより、職員負担の軽減、人的ミスの削減、住民サービスの維持・向上等を目指します。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定型的な作業が多い等、課題のある業務を可視化 <ul style="list-style-type: none"> ・R3実施の業務量調査を踏まえ、効率性等に課題のある業務をターゲット 2. デジタル技術等による課題解決のモデルを検討 <ul style="list-style-type: none"> ・「紙や手書き事務からの脱却」、「パソコン作業の自動化」を意識した業務の効率化 ・本市導入済の、AIチャットボット、AI-OCR、RPA等のデジタルツールの活用拡大 					
事業費 (前年度当初予算額)	28,000 千円 (22,000 千円)	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
事業費 (今年度当初要求額)	(28,600 千円)		地方債	0 千円	一般財源	28,000 千円
担当課	行政改革推進室		連絡先		内線 3594	
担当者	室長 花房 明彦				直通 086-803-1096	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	区役所窓口のスマート化事業					
事業の趣旨・目的	混雑期の解消を図るとともに、将来的に目指すスマートな窓口への実践例となるよう、ICTの活用により、窓口業務の改善を図ります。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 手続きナビ・証明書オンライン申請サービスによる利便性向上・窓口混雑緩和 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自宅等(パソコンやスマホ)から、必要な手続きや窓口を案内 (2) マイナンバーカード等を使用することで、来庁せずとも証明書交付申請可能 2. ICTの利活用 <ol style="list-style-type: none"> (1) ICTツール(キャッシュレス決済)を業務手順の中に組み込む (2) 国の動向を踏まえた、標準化・書かない窓口等の検討 <p>【R5年度予算のポイント】</p> <p>デジタル化による「非来庁・非接触型サービス」への転換</p>					
事業費	7,885 千円	財源内訳	国県支出金	3,400 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(5,320 千円)		地方債	0 千円	一般財源	4,485 千円
(今年度当初要求額)	(8,275 千円)					
担当課	区政推進課		連絡先		内線 3750	
担当者	課長 山本 泰弘				直通 086-803-1033	

令和5年度当初予算(案) 主要施策・事業補足資料

事務事業名	情報発信力強化事業					拡充
事業の趣旨・目的	市が進めるまちづくりの目標や課題を市民に理解してもらえるよう、市の施策をわかりやすく発信していきます。					
事業の概要	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報発信プロジェクト「わかるかわる岡山市」を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・市の重要な施策を題材とした動画を作成し、市公式YouTubeをはじめ、様々な媒体を連携させて発信 ・職員の広報マインド向上(広報研修等の実施) 2. 市公式LINEにセグメント配信機能を導入【新規】 <ul style="list-style-type: none"> ・登録者のニーズに合わせて、必要なジャンルの情報を配信 3. 広報紙特集記事の回数を年4回から年6回に拡大 					
事業費	32,200 千円	財源内訳	国県支出金	0 千円	その他	0 千円
(前年度当初予算額)	(26,641 千円)		地方債	0 千円	一般財源	32,200 千円
(今年度当初要求額)	(32,260 千円)					
担当課	広報広聴課		連絡先		内線 3470	
担当者	課長 木内 啓子				直通 086-803-1024	

